

平成27年度

当別町の教育

当別町教育委員会

目 次

当別町教育目標	1
当別町教育推進計画	2
教育予算	3

【 学 校 教 育 】

1 当別町小中学校現況	
(1) 児童生徒・教職員数及び施設の概況	5
(2) 児童生徒数の推移	6
(3) 各学校概況	
当別小学校	7
弁華別小学校	9
西当別小学校	11
当別中学校	13
西当別中学校	15
弁華別中学校	17
2 学校給食	19
3 平成27年度当別町学力向上プラン	20
4 当別町の小中一貫教育	22
5 保護者支援制度	25
(1) 就学援助	
(2) 特別支援教育就学奨励費	
(3) 特別支援学級等通学援助費	
(4) 私立幼稚園助成費	

【 社 会 教 育 】

1 社会教育関係事業	28
(1) 学校教育との連携事業	
(2) 生涯学習推進事業	
(3) 読書活動推進事業	
(4) 生涯スポーツ推進事業	
2 社会教育施設	32

【 資 料 】

教育委員	37
平成26年度教育委員会等開催状況	38
教育委員会組織図 課及びセンターの分掌事務	39
教育関係各種委員	40
(1) 当別町教育支援委員会	
(2) 当別町特別支援教育サポート組織	
(3) 学校評議員	
(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	
(5) 当別町学校給食センター運営委員会	
(6) 当別町社会教育委員会	
(7) 当別町文化財審議会	
(8) 当別町少年指導センター	
(9) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(10) 当別町スポーツ推進委員会	
教育関係各種団体	48
(1) 当別町文化協会加盟団体	
(2) 当別町体育協会	
(3) 当別町子ども会育成連合会	
(4) 当別町女性団体連絡協議会	
文化財一覧	50
教育の沿革	51



当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。

科学的な知識や技能を身につける。

豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。

自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。

明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

学校教育推進目標

- ひとりひとりを生かす創意ある学校経営。
- 自ら考え創造する力を育てる学習指導。
- 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導。
- 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導。

社会教育推進目標

- 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別二世紀をつくる町民の育成。
- 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進。
- 健康な心身をつくり明るいまちをつくる社会教育の推進。
- 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進。

[昭和31年 制定]

平成27年度 当別町教育推進計画

当別町の目指す姿

「自然を身近に感じ 活力に満ちた美しい町 当別町」

※第5次総合計画(平成21年度～30年度)

当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる
科学的な知識や技能を身につける
豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる
自主的な判断力と社会的徳性をつちかう
明るく豊かで住みよい郷土をきずく

学校教育推進目標

ひとり一人を生かす創意ある学校経営
自ら考え創造する力を育てる学習指導
豊かな心で実践する力を育てる生徒指導
生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導

社会教育推進目標

自ら学び活動し伝統を生かし当別二世紀をつくる町民の育成
明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進
健康な心身をつくり明るいまちをつくる社会教育の推進
楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進

基本姿勢

『第4次当別町生涯学習推進計画』(平成26年度～30年度)

～ 当別に暮らす人にとっての生涯にわたる「まなび」の道しるべ～
この計画を軸に、それぞれの課題を踏まえながら学校教育、社会教育に係る施策を展開する。

(確かな学力) (豊かな心) (健やかな体)

育てたい児童生徒像

～ 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成～

社会教育

【基本方針】

全ての町民が幸せを感じることでできる生涯学習社会の実現

【重点的取組】

- (1) 生涯学習プログラムの充実
- (2) 保護者、学校との連携を重視した教育プログラムの充実
- (3) 家庭の教育力向上への支援
- (4) 青少年、成人教育の充実
- (5) 文化・芸術・スポーツ活動の推進

【具体的取組】

- ① 平成26年新設プログラムの更なる充実と新たな学習プログラムの開発、実施
- ② 社会教育にかかわる各種委員会の活性化
- ③ 学校を核とした地域強化プラン事業の実施
- ④ 「家庭教育の手引き」の活用による保護者支援
- ⑤ 「親力つむぎ事業」の成果を生かした新たな事業の実施
- ⑥ ジュニアリーダー育成事業への支援
- ⑦ 少年団活動への支援
- ⑧ コーディネーショントレーニングやNEWスポーツの普及
- ⑨ 新たな子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進
- ⑩ 図書室環境の向上・充実
- ⑪ 芸術・文化・スポーツによる地域コミュニティの活性化
- ⑫ 学校教育と連携した児童・生徒支援

学校教育

【基本方針】

子どもの発達や学びの連続性を踏まえていねいな教育の推進

【経営目標】

着実な成果を上げる学校経営

【重点的取組】

- (1) 学校全体で取り組む確かな学力の育成
- (2) 道徳教育を基軸とした豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 異校種間の連携推進
- (5) 教師力を高める研究・研修の実施

【具体的取組】

- ① 学校支援(ICT環境の整備)・指導の強化
- ② 全国学力・学習状況調査の分析と学校改善プランへの指導助言
- ③ 学力向上プランの作成
- ④ 国際理解教育・英語教育の推進
- ⑤ 道徳教育に関する指導助言
- ⑥ 全国体力・運動能力等調査の分析と改善策への支援
- ⑦ 社会教育と連携した児童・生徒支援
- ⑧ 一貫教育導入の準備
- ⑨ 今日的課題に対応した教職員研修の推進(夏、冬の研修)
- ⑩ 弁華別小学校・弁華別中学校の統合に向けた支援
- ⑪ 教育環境整備

学校給食

【基本方針】

安全安心な給食の提供

【重点的取組】

- (1) 食育の指導推進
- (2) 食物アレルギーへの対応
- (3) おいしい給食の研究
- (4) 異物混入防止体制の強化
- (5) 学校や関係機関との連携

【具体的取組】

- ① 地場産食材の活用
- ② 栄養教諭による学校(食育)指導の充実
- ③ アレルギー対応マニュアルの普及啓発
- ④ 医療機関との情報交換
- ⑤ 石狩管内各給食センターとの連携
- ⑥ 児童生徒アンケートの実施
- ⑦ 委託業者の定期点検・指導
- ⑧ 学校(配膳室、搬入口)の定期点検・指導
- ⑨ 学校との意見交換
- ⑩ 石狩管内学校給食研究協議会との情報交換

点検・評価

○ 学校においては、各校で自己点検・評価を行い、それを元にした学校関係者評価を行う。

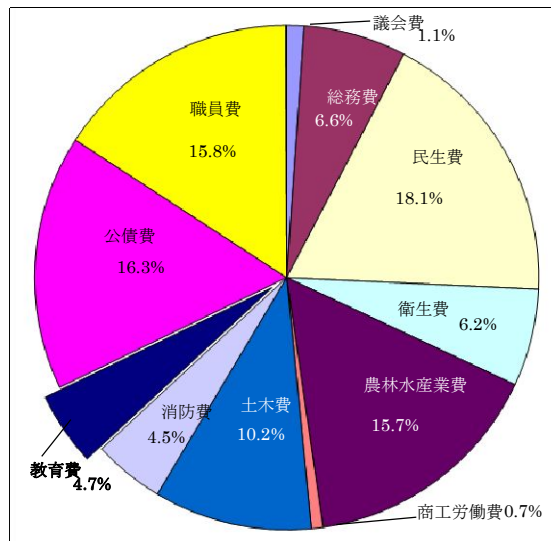
○ 教育委員会においては、事務事業評価を行い外部による評価を受ける。

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

➤ 教育予算

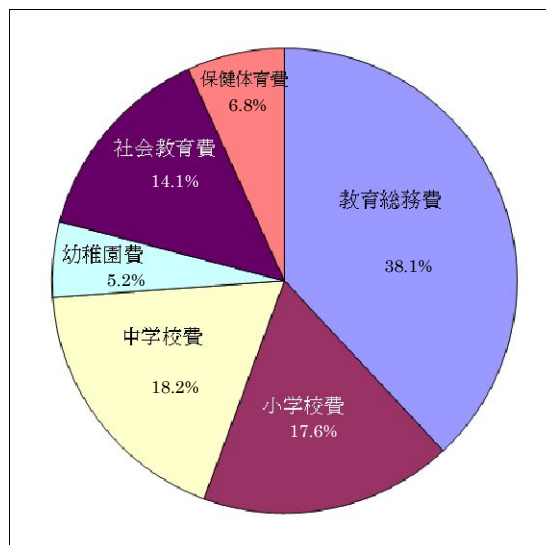
1 平成27年度 一般会計当初予算額 94億1,566万円

区分	金額(千円)	構成比(%)
議会費	103,894	1.1
総務費	620,495	6.6
民生費	1,699,738	18.1
衛生費	586,370	6.2
農林水産業費	1,480,083	15.7
商工労働費	69,647	0.7
土木費	955,561	10.2
消防費	428,001	4.5
教育費	443,840	4.7
公債費	1,538,326	16.3
職員費	1,484,696	15.8
その他	5,005	0.1
総額	9,415,656	100



2 平成27年度 教育費当初予算額 4億4,384万円

区分	金額(千円)	構成比(%)
教育総務費	168,914	38.1
小学校費	77,996	17.6
中学校費	80,890	18.2
幼稚園費	23,261	5.2
社会教育費	62,661	14.1
保健体育費	30,118	6.8
総額	443,840	100



3 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
平成23年度	8,119,712	1.0	381,780	▲3.0	4.7
平成24年度	7,621,761	▲6.1	409,258	7.2	5.4
平成25年度	7,527,474	▲1.2	429,241	4.9	5.7
平成26年度	7,715,027	2.5	420,603	▲2.0	5.5
平成27年度	9,415,656	22.0	443,840	5.5	4.7

※各年度当初予算額

4 主な事業

(地域創生先行型緊急支援事業費)

各小中学校 ICT 機器整備事業 (H26 繰越明許費 12,700 千円)

各小中学校の普通教室及び特別教室に ICT 機器として、電子黒板内蔵プロジェクター及び実物投影機を配置する※電子黒板内蔵プロジェクターは小学校 4 年生以上

(地域創生先行型緊急支援事業費)

一貫教育推進事業 (H26 繰越明許費 1,778 千円)

外部有識者による研修やカリキュラム作成等に係る取組、「小中一貫教育全国サミット」への参加など小中一貫教育の推進を図る

弁華別小学校・弁華別中学校閉校記念事業協賛会補助金 (1,600 千円)

弁華別小学校、弁華別中学校の閉校に関し、記念事業を実施する弁華別小学校・弁華別中学校閉校記念事業協賛会への補助金

特別支援教育推進事業 (12,821 千円)

発達障害を含む障害のある児童生徒の学習活動等の支援体制を図る。(支援員・介助員)

英会話指導助手配置事業 (9,240 千円)

各小学校に英会話指導助手を派遣し、英語教育の充実を図る。
(小学校 1-4 年 10 時間、5-6 年生 35 時間、中学校 9 時間)

学校を核とした地域力強化プラン事業 (2,971 千円)

学校の支援活動を行う学校支援地域本部事業の実施及び、児童生徒の家庭学習支援として放課後学習、土曜学習などの事業を実施し、子どもたちの教育の充実を図る。

高齢者が生きる地域しごと支援事業 (6,380 千円)

高齢者の活用を通じ、若者への技術の伝承や、高齢者と多世代交流によるコミュニティーの活性化と、若者の地元定着を図る。

学 校 教 育

➤ 1 当別町小中学校現況

1 児童生徒・教職員数及び施設の概況

学校名	区分	学級数 (学級)		児童生徒数 (人)								教職員数 (人)					
		普通	特別 支援	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別 支援	計	校長	教頭	教諭	養護 教諭	事務 職員	栄養 教諭
1	当別小学校	12	4	56	52	69	65	73	72	8	395	1	1	23	1	2	1
2	弁華別小学校	3		1	3	0	4	2	3		13	1	1	3	1		
3	西当別小学校	12	2	50	41	43	42	57	55	5	293	1	1	17	1	1	
小学校計		27	6	107	96	112	111	132	130	13	701	3	3	43	3	3	1
1	当別中学校	8	2	87	77	88				6	258	1	1	18	1	1	
2	西当別中学校	6	3	48	79	62				4	193	1	1	15	1	1	
3	弁華別中学校	2		2	2	5					9	1		5		1	
中学校計		16	5	137	158	155				10	460	3	2	38	2	2	
合計		43	11							23	1161	6	5	81	5	5	1

※平成27年5月1日現在の学校基本調査による

学校名	校舎 構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
当別小学校	R	4,922	983	20,967	昭和46年	平成24年
弁華別小学校	W	1,434	305	12,228	昭和12年	昭和12年
西当別小学校	R	4,351	702	15,789	昭和57年	昭和58年
小学校合計		10,707	1,990	48,984		
当別中学校	R	4,234	950	43,310	昭和44年	昭和44年
西当別中学校	R	3,839	678	28,749	昭和55年	昭和54年
弁華別中学校	R	1,734	681	14,731	昭和54年	昭和61年
中学校合計		9,807	2,309	86,790		
小中合計		20,514	4,299	135,774		

※R：鉄筋コンクリート造、W：木造

2 児童生徒数の推移

◆ 児童数（小学校）

各年5月1日現在（単位：人）

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
平成23年	128(1)	134(2)	145(2)	155(2)	167(2)	177(5)	906(14)
平成24年	117(0)	134(1)	137(2)	153(3)	159(2)	168(3)	868(11)
平成25年	115(2)	119(1)	132(1)	136(2)	150(3)	161(2)	813(11)
平成26年	100(2)	116(2)	116(2)	128(1)	134(2)	148(2)	742(11)
平成27年	109(2)	99(3)	113(1)	112(1)	134(2)	134(4)	701(13)

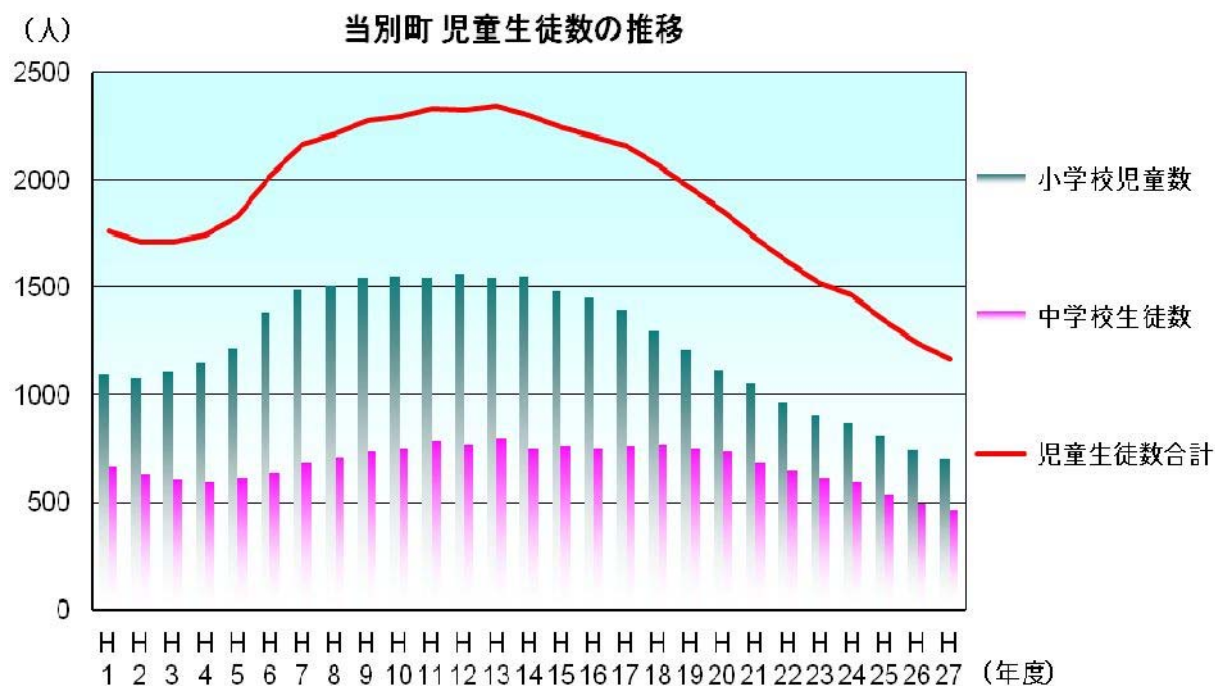
※（ ）は、特別支援学級における児童数を示す。（内数）

◆ 生徒数（中学校）

各年5月1日現在（単位：人）

年度	1年	2年	3年	計
平成23年	189(2)	221(3)	203(3)	613(8)
平成24年	180(4)	192(2)	219(3)	591(9)
平成25年	160(4)	178(4)	194(2)	532(10)
平成26年	158(2)	159(5)	178(4)	495(11)
平成27年	140(3)	160(2)	160(5)	460(10)

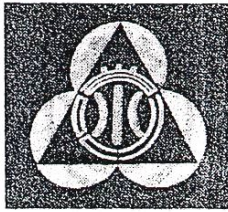
※（ ）は、特別支援学級数における生徒数を示す。（内数）



2 各学校概況

当 別 小 学 校

校章・所在地



〒061-0222
 北海道石狩郡当別町元町 102 番地
 電話：0133-23-2102 FAX：0133-23-3760

【校章の意味】

中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。

校歌

一
 紫雲にけふる 阿蘇の山
 麓をめぐる当別の
 流れつきせぬ 学びやに
 至誠の華は香るなり

二
 由緒も深き 開拓の
 先人の意気しのびつつ
 心をつくし 身をつくし
 誠の道にはげみなん

作曲 大橋 義雄
 作詞 末武 涉

沿革の概要

明治 5年	鮎田如牛が当別町において開塾	14年	開校130周年記念写真集作成
6年	「当別教育所」と改称	16年	石狩管内教育機器連盟研究大会開催
39年	校舎現在地移転	17年	石狩管内教育実践奨励表彰受賞
43年	北海道庁官より教育の侯に対し選賞	22年	ことばの教室が通級指導教室となる
大正 9年	校舎新築	22年	オヤジの会発足
昭和 22年	6・3制により「当別小学校」と改称	22年	当教研主催学校研究発表会開催
39年	特殊学級「いなほ」1学級認可		南校舎耐震工事完了
41年	石狩教育研究会特別活動中心校指定	24年	体育館改築
	プール完成（当別学校プール1号）		開校140周年記念事業
44年	体育館完成		（全校集合写真・記念バザー・記念集会・記念誌作成）
47年	新校舎完成、落成式挙行	25年	全道書道コンクール団体優勝
	開校100周年記念式典挙行、		（13年連続24回目）
	記念公開研究会開催、		全国学生書道展覧会団体優勝
	記念事業協賛会より中庭造成寄贈		（19年連続29回目）
52年	学校基本調査について文部大臣表彰		当別町教育功績表彰受賞
53年	学校の教育目標改訂		（芸術文化功績賞）
57年	創立110周年記念式典挙行、	26年	全道書道コンクール団体優勝
	P.T.A記念事業により遊具施設設置		（14年連続25回目）
58年	石狩地区小学校放送教育研究指定校		全国学生書道展覧会団体優勝
59年	石狩管内教育実践表彰受賞		（20年連続30回目）
	石狩地区小中学校放送教育研究大会開催		当別町教育功績表彰受賞
63年	「ことばの教室」1学級認可		（芸術文化功績賞）
平成 7年	学校給食開始		
12年	コンピュータ教室設置		

教育目標

「一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、
 平和で幸福な社会の担い手として、心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。」

- ◇ 知性をみがく子ども （よく考える子ども） 〈知〉
- ◇ 心豊かな子ども （心のゆたかな子ども） 〈情〉
- ◇ 意志の強い子ども （さいごまでやりぬく子ども） 〈意〉
- ◇ からだのじょうぶな子ども （強いからだの子ども） 〈体〉

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 命や思いやりを大切にする心の育成 ◆ 小中9年間を見通した確かな学力の定着・向上 ◆ 自分の健康に関心を持ち、運動が好きな子どもの育成 ◆ 家庭や地域との連携・情報発信 <p>※「自分づくり」「仲間づくり」を促す指導を通して</p>																																													
研究主題	<p>≪ 学校課題 ≫ 『やる気と自信を高めていく子どもの育成』 ～豊かな心と確かな学力育成のための基礎的・基本的な内容の指導を通して～</p> <p>≪ 研究主題 ≫ 「わかる・できる喜びを感じる算数科の授業づくり」 ～学習過程の工夫を通して～</p>																																													
特色ある教育活動	<p>1 読書活動の推進 朝の読書タイム（全校一斉）をはじめ、読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。</p> <p>2 書道教育の推進 毎月「書道の週間」を設け、全校一斉に書道に親しむ活動を行う。作品展への出品やコンクールへの挑戦、作品掲示を励みとし、書道に興味を持たせ、自ら進んで取り組む環境をつくる。週1回の朝書道では、筆ペンや硬筆で名前や名文を練習する。</p> <p>3 学校支援ボランティアの活用 読書活動のボランティアをはじめ、農協青年部やNPO関係者、社会福祉協議会の専門職員、役場職員など、学年の発達段階や題材テーマに合わせてゲストティーチャーとして強力な支援を受けている。</p>																																													
学級編制	平成27年5月1日現在																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ffff00;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>27</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>33</td> <td>7</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>29</td> <td>26</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>31</td> <td>39</td> <td>1</td> <td>193</td> </tr> <tr style="background-color: #ffff00;"> <td>合計</td> <td>56</td> <td>52</td> <td>69</td> <td>65</td> <td>73</td> <td>72</td> <td>8</td> <td>395</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	4	16	男子	27	26	32	35	42	33	7	202	女子	29	26	37	30	31	39	1	193	合計	56	52	69	65	73	72	8	395
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	4	16																																						
男子	27	26	32	35	42	33	7	202																																						
女子	29	26	37	30	31	39	1	193																																						
合計	56	52	69	65	73	72	8	395																																						
教職員	平成27年5月1日現在																																													
	<p>校長 菊崎 睦 裕</p> <p>教頭 三島 哲</p> <p>教職員数 教諭23名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名 非常勤講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名</p>																																													

弁 華 別 小 学 校

校章・所在地



〒061-0208
 北海道石狩郡当別町字弁華別243番地
 電話：0133-23-2350 FAX：0133-25-5382

【校章の意味】

雪の結晶。中央の辨の文字。北国の大地の風土に耐え、ねばり強くたくましい郷土を表す。

校歌

二 えぞが島根の われらいざ 心を磨き 身を鍛え 世のため尽す 誠こそ わが学舎の 誇りなれ	一 阿蘇のふもとの われらいざ 望みは高し 弁華別 ただ真心の 一つもて 学びの道に いそしまん	作詞 工藤 不二夫 作曲 五十嵐 富士男
--	--	-------------------------

沿革の概要

明治25年	5月	当別尋常小学校弁華別分教場として開校	昭和57年	9月	開校90周年記念式典・祝賀会举行
	38年	8月 当別第一尋常小学校と改称され、独立校へ	平成2年	8月	緑の少年団結成
				4年	9月 開校100周年記念式典・祝賀会举行
				15年	1月 開校110周年記念誌
大正5年	2月	弁華別尋常小学校と改称			「わが学舎」発行
	11年	4月 弁華別尋常高等小学校と改称	23年	9月	全道へき地複式教育研究大会石狩
昭和6年	6月	校章と校歌の制定			プレ大会実施
	12年	7月 現校舎新築落成	24年	9月	全道へき地複式教育研究大会実施
	16年	4月 弁華別国民学校と改称	25年	2月	開校120周年記念誌
	22年	4月 弁華別小学校と改称			「あそいわ」発行
		6月 弁華別教育振興会設立	26年	9月	当別町学校教育研究推進協議会
	27年	9月 開校60周年記念式典・祝賀会举行			学校課題研究発表会開催
	36年	9月 開校70周年記念式典・祝賀会举行		10月	閉校記念事業協賛会設立
	50年	4月 青山小学校との統合			

教育目標

- ◇ 自ら進んで考える子どもを育てる 〈知〉
- ◇ 心がやさしく、助け合う子どもを育てる 〈情〉
- ◇ 工夫し、何事もやり通す子どもを育てる 〈意〉
- ◇ 健康でたくましい子どもを育てる 〈体〉

経営の重点

- ◆学校経営 教職員一人一人が主体的に学校経営に参画し、協働して分掌経営にあたる体制を充実させる。
- ◆教育課程 学校の特色を生かした創意ある教育課程するとともに、将来を見通した学校間交流を実施する。
- ◆研修活動 校内研修や自己研修を充実し、生徒指導の機能を生かした教科指導・道徳指導・特別活動指導等の指導技術の向上に努める。
- ◆学年学級経営 一人一人の子どもを大切にされた個性あふれる学年学級経営に努める。
- ◆学習指導 継続した学習意欲の向上を目指すとともに、基礎基本の習得と活用力の育成を図り、「確かな学力」が身につく学習指導を推進する。
- ◆道徳教育 自他を大切に、豊かな感性や思いやりの心を育てる道徳教育を推進する。
- ◆特別活動 一人一人の子どもが意欲的に活動する特別活動を推進する。
- ◆総合的な学習の時間 総合的な学習の時間における体験的・問題解決的指導計画の編成、実践を推進する。
- ◆外国語活動 外国語を通して言語や文化の違いに気づくとともにコミュニケーション力を高める。
- ◆ふるさと学習 ふるさとを愛し、ふるさとで生きる喜びを感じさせる「ふるさと学習」を推進する。
- ◆生徒指導 全教職員の共通理解に立ち、心のふれあいを大切に生徒指導を推進する。
- ◆健康・安全教育 生命を尊重し、たくましい心身を育む健康・安全指導を推進する。
- ◆特別支援教育 個に応じた指導が生きる特別支援教育の推進を図る。
- ◆進路指導 将来に向かって夢や希望、憧れを持ち、目標に向かって努力できる子を育てる指導の充実を図る。

研究主題

《 学校課題 》
 伝えよう！広げよう！元気・明るさ・思いやり

《 研究主題 》
 自ら学びを追究し、ともに高め合う子どもの育成
 ～一人一人の学びが広がる授業の構築～

特色ある教育活動

- 1 確かな学力**
- (1) **あそいわタイム** ○漢字学習と四則計算を中心とする算数と全校朝読書
- (2) **漢字なりたち学習** ○低・中学年を中心に剥落しない漢字習得
- (3) **わくわくフェスティバル** ○総合的な学習の時間の充実とプレゼンテーション能力の向上(学芸会において中間発表を行う)
- 2 豊かな心**
- (1) **全校宿泊学習** ○縦割り班活動を通じた実践力の向上と人間関係作り
- (2) **全校登山遠足** ○発達段階および個人の目標を大切に、頑張る心と体力・健康を育てる
- (3) **交流学習** ○インターネットを利用した、他地域の児童との交流広い世界の認知と交歓をめざす
- 3 健康な体・安全な生活**
- (1) **全校水泳学習**、**全校スキー学習** ○職員協働による指導で、細かいグループ分けを行い、学習の充実を図り個人の能力の向上をめざす
- (2) **着衣水泳**「(隔年…偶数年に実施)」**不審者対策** ○日常の安全指導に加え、不慮の事件・事故に備えた生命を守る指導の実施
- 4 ふるさと学習**
- (1) **農園活動** ○低・中・高学年で栽培する種類を分担し全校の収穫祭を実施する等、生命を育む活動を校内のテーマに沿って展開する
- (2) **緑の少年団活動** ○募金活動・植樹活動・地域清掃活動等により、環境保全の意義を、全校児童に十分に意識させる
- (3) **地域人材活用** ○外部講師(ゲストティーチャー)・専門家(町AL Tを含む)等の積極的な導入による授業の充実を図る
- 5 小中連携**
- (1) **小中合同運動会**「(H27…中学校会場)」○合同運動会の計画から反省までの一連をより深く連携して実施
- (2) **小中共同授業研究** ○小中の学級担任・教科担任が相互に交流して接続を密にし、小中の接続をスムーズにする

学級編制

平成27年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
学級数	1			1	1			3
男子	1	1		0	0	2		4
女子	0	2		4	2	1		9
合計	1	3		4	2	3		13

教職員

平成27年5月1日現在

校長 山口 浩

教頭 布施 裕

教職員数 教諭3名 養護教諭1名 非常勤講師1名

西 当 別 小 学 校

校章・所在地



〒061-3776
 北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地
 電話：0133-26-2170 FAX：0133-26-2813

【校章の意味】

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

校 歌

<p style="text-align: center;">三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p style="text-align: center;">一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作 詞 坂本 作 曲 津田 甫 亮</p>
---	---	---

沿 革 の 概 要

昭和26年 8月 1日	獅子内小学校・太美小学校が 合併し西当別小学校設立	平成 9年 4月 1日	「たんぼぼ学級」設置
11月24日	新校舎落成・移転	13年 1月30日	新学校教育目標制定
12月10日	校章制定	9月 9日	開校50周年記念式・祝賀会
27年 2月11日	西当別小学校校歌制定	14年	視聴覚室改修
32年11月 8日	校舎増築、屋内体育館完成	15年	児童図書管理コンピューター化
36年 9月13日	開校10周年記念式挙行	16年 6月18日	ハマナス50本植樹 (朝日新聞社より寄贈)
46年 9月12日	開校20周年記念式挙行	18年 4月	文部科学省指定の
48年 9月13日	増築校舎完成 (理科室・準備室、視聴覚室、 放送室、保健室)	19年 6月19日	「小中連携事業」開始(2カ年)
50年10月 6日	北海道小中学校放送教育研究 大会開催	10月31日	国際理解教育開始(ALTとの学習)
56年 9月13日	開校30周年記念式・祝賀会	22年 2月27日	JICA研修員学校訪問 (アフリカ諸国より)
57年11月29日	新校舎完成 (普通教室4・音楽室・理科室)	22年10月10日	当別町青少年善行賞受賞 (リングプル・エコキャップ収集)
58年12月 4日	新体育館落成式・祝賀会	22年10月10日	当別町140年記念 パレード見学、記念式典参加 (5年生)
62年11月24日	開校記念日指定・祝賀会	23年 6月17日	大崎市へ震災復興激励の横断幕 の送付
平成 元年 5月26日	グラウンド改修工事	24年 6月 1日	JR電化祝賀式典参加
3年 4月 1日	高岡小学校本校へ統合	26年 9月 1日	西当別地区プレイハウスが 西当別小学校内へ移転
6年 2月20日	増築校舎落成式・祝賀会		
7年 3月31日	プレハブ校舎4教室完成		
平成 8年11月 8日	増築校舎完成式 (普通教室8・音楽室・図工室)		

教 育 目 標

- ◇ 心ゆさぶる感性 <心> ・のびのび語り合う子
 - ◇ 学び求める知性 <学び> ・ぐんぐん学び合う子
 - ◇ 生き方が個性 <生き方> ・もりもりきたえ合う子
- [平成13年3月改定]

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆確かな学びづくり 確かな学力を支える、基礎・基本の習得及び活用する力の育成 ◆豊かな心づくり 人とかかわり、共に生きるための、豊かな人間性・社会性の育成 ◆健やかな体づくり たくましく生きるための、健康や体力の育成 ◆信頼される学校づくり 地域が誇り保護者が集う、信頼される学校づくりを推進 																																													
研究主題	<p>≪ 重点目標 ≫ 「進んで学び、高め合う、心豊かでたくましい児童の育成」</p> <p>≪ 研究主題 ≫ 「課題に向かって主体的に学ぶ子どもの育成」 ～見通しを持って意欲的に課題解決に取り組む算数科を目指して～</p>																																													
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎・基本を大切に確かな学力を身につける学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・1～2年は国語と算数、3～6年は算数の時間にT T・少人数指導を実施 ・全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む ・学生ボランティアSATを活用した授業の実施 2 地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア） <ul style="list-style-type: none"> ・様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用 3 NPOと取り組む環境教育 <ul style="list-style-type: none"> ・NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など） 4 活発に行われる読書活動 <ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉の「朝の読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み 5 生き生きと展開する児童会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」 ・リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」 6 基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる小中連携事業の充実・発展 																																													
学級編制	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>36</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>25</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>50</td> <td>41</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>57</td> <td>55</td> <td>5</td> <td>293</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	男子	25	26	23	18	36	27	4	159	女子	25	15	20	24	21	28	1	134	合計	50	41	43	42	57	55	5	293
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14																																						
男子	25	26	23	18	36	27	4	159																																						
女子	25	15	20	24	21	28	1	134																																						
合計	50	41	43	42	57	55	5	293																																						
教職員	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <p>校長 樟山行彦</p> <p>教頭 橋本由美</p> <p>教職員数 教諭17名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師1名 特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名</p>																																													

当 別 中 学 校

校章・所在地



〒061-0205

北海道石狩郡当別町下川町 125 番地

電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

【校章の意味】

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

校歌

<p>三 開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讀えん ああ我が郷土</p>	<p>二 白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あけくれは 真理きわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p>一 緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p>	<p>作詞 井上 治雄 作曲 工藤 定一</p>
--	---	--	------------------------------

沿革の概要

<p>昭和 22年 5月 当別村立当別中学校が開校 11月 校章制定 25年 9月 校歌制定 10月 独立校舎に移転（旧競馬場跡） 27年 8月 中小屋分校が独立 30年 4月 三番川、四番川分校が本校の分校に 32年 10月 同窓会発足 11月 開校10周年記念式典 33年 4月 三番川、四番川分校が独立 36年 7月 当別川が氾濫し校舎床上浸水 41年 4月 ときわ学級開設（特殊学級） 42年 6月 開校20周年合同記念式典 44年 4月 牛乳給食開始 11月 新校舎完成竣工・移転完了 48年 4月 スクールバス運行開始 52年 9月 開校30周年記念式典 58年 7月 校舎改築工事 平成 4年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 8年 1月 学校給食開始</p>	<p>平成 9年 6月 スクールカウンセラー配置 11月 当別中学校開校50周年記念式典 15年 10月 第3回東日本学校 吹奏楽コンクール金賞（C編成） 17年 3月 除雪ボランティア善行顕彰を受賞 19年 11月 石教研学校課題研究発表 20年 8月 剣道部女子全道大会出場 21年 7月 相撲部全道大会準優勝、 剣道部女子全道大会出場 22年 7月 相撲部全道大会準優勝 10月 当別町140年記念パレード、 記念式典参加 23年 1月 校舎・体育館耐震化工事完了 12月 バックネットの改修工事完了 24年 6月 JR学園都市線電化開業記念イベント 参加 25年 12月 東生徒トイレ改修 26年 2月 西生徒トイレ改修</p>
---	--

教育目標

- ◇ 真剣に学び 自己を高めよう
- ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう
- ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう
- ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう
- ◇ 身体を鍛え たくましくなろう

精 神

「優しく 強く」

経営の重点	<p>【信頼され、開かれた、質の高い学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自己点検・自己評価（保護者アンケート・生徒アンケート含む）・学校関係者評価の実施及び結果の公表、情報の共有化による小中高の連携、協力の推進 ほか <p>【知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 知性のある生徒〈知〉 ◆ 人の感情がよく分かる生徒〈徳〉 ◆ 厳しく自らを鍛え体のエネルギーが漲っている生徒〈体〉 																														
研究主題	<p>《 学校 課題 》 学び合い、認め合い、高め合う心豊かな生徒の育成</p> <p>《 研究 主題 》 「一人ひとりの確かな学力を育成する指導方法の工夫」 ～基礎基本の定着と学習習慣の確立を目指して～</p>																														
特色ある教育活動	<p>(1) 数学と英語でT T・習熟度別授業を実施</p> <p>(2) 全校的に日常の朝自習、週末課題への取り組み</p> <p>(3) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生 ～ 農業体験（ジャガイモの栽培） ○ 2年生 ～ 職場体験学習（2日間） ○ 3年生 ～ 当別を知る <p>(4) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施</p> <p>(5) 部活動については体育系8部、文化系3部</p> <p>(6) 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏</p> <p>(7) 小中連携教育</p>																														
学級編制	平成27年5月1日現在																														
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #FFD700;">学年</th> <th style="background-color: #FFD700;">1年</th> <th style="background-color: #FFD700;">2年</th> <th style="background-color: #FFD700;">3年</th> <th style="background-color: #FFD700;">特別支援学級</th> <th style="background-color: #FFD700;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">学級数</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">10</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">男子</td> <td style="text-align: center;">51</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">140</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">女子</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">118</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFD700;">合計</td> <td style="text-align: center;">87</td> <td style="text-align: center;">77</td> <td style="text-align: center;">88</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">258</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	3	2	3	2	10	男子	51	41	44	4	140	女子	36	36	44	2	118	合計	87	77	88	6	258
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	3	2	3	2	10																										
男子	51	41	44	4	140																										
女子	36	36	44	2	118																										
合計	87	77	88	6	258																										
教職員	平成27年5月1日現在																														
	<p>校長 厚 海 嘉 孝</p> <p>教頭 森 正 彦</p> <p>教職員数 教職員数 教諭18名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師1名 特別支援教育支援員2名</p>																														

西 当 別 中 学 校

校章・所在地



〒061-3772

北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1

電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

【校章の意味】

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

校歌

四 大いなる 恵の朝 われら今 光を受けて 踏み分けん 真の長道 西当別 われらのふるさと	三 涼風は 垂穂にそよぎ 行く水は 広野うるほす 豊けしや みのりの里わ 西当別 われらのふるさと	二 緑なす 森の梢に 先人の 功徳びつ 集い合う 若人われら 西当別 われらのふるさと	一 石狩の 潮騒遠く 夕映えの 広がるほとり 厳かしく 立てる学び舎 西当別 われらのふるさと
作詞・作曲 倉島 繁			

沿革の概要

昭和 22年 23年 25年 26年 31年 32年 38年 42年 43年 46年 49年 51年 52年 54年 56年 57年 平成 4年 8年 9年 11年 12年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に 校章制定、独立校舎落成 高岡分校設置 旧校歌制定 体育館落成 開校10周年式典 高岡分校独立 開校20周年式典 高岡中学校統合 町プール校地に設置 スクールバス運行 石狩管内教育実践奨励賞受賞 開校30周年式典 体育館落成 新校舎落成記念式典 校舎落成記念植樹 グラウンド完成 学校週5日制開始 学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(豊島堅太) 開校50周年式典・スウェーデン訪問 全道剣道大会3位(菊池麻耶) 増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)	平成 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年 21年 22年 23年 25年	特殊学級設置・10学級編制 全道新体操準優勝(岩倉 歩) 全道陸上砲丸投げ3位(山本竜太) 110mH3位(寺尾瑞基) 全道新体操優勝(岩倉 歩) 全道水泳50m自由形3位・100m自由形 2位(太田千晶) 全国新体操準優勝(岩倉 歩) 全道ソフトボール大会3位 新教育目標設定 全道ソフトボール大会3位 18・19年度国立教育政策研究所委嘱事業 小中連携教育実践研究指定校 当別町学校教育研究推進協議会学校研究発表会 道「青少年の主張」大会優秀賞(萩原有希) 石狩管内教育実践奨励賞受賞 モンゴル国教育視察団訪問 ESD 日米教員交流団来校 当別町学校教育研究推進協議会学校研究発表会 体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事
--	---	---	---

教育目標

ここ西当別の大地で、
 ◇ 高い知性 (知)
 ◇ 強い意志 (徳)
 ◇ 健やかな体 (体)
 を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 実践力豊かな信頼される学校づくりの推進 ◆ 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進 ◆ 基礎基本の確実な習得と自ら考え判断し表現する力を育む教育の推進 ◆ 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進 ◆ 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進 ◆ 時代の要請や今日的な教育課題を踏まえ、新たな可能性を創造する教育の推進 ◆ 家庭、地域と連携し、地域と共に歩む教育の推進 																														
研究主題	<p>《 学校課題 》 豊かな心に根ざした確かな学力</p> <p>《 研究主題 》 自ら考え、進んで表現できる生徒の育成 ～自己肯定感を高める活動を通して～</p>																														
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際交流と国際理解学習 2 心に潤いを与え、豊かな情操を養う環境作り 3 全校生徒一斉のクリーン作戦・校内環境整備 4 生徒会によるピア・サポート運動 5 花壇整備、長寿園訪問、太美駅清掃、友愛セールなどのボランティア活動 6 義務教育9年間を見通した小中連携教育 7 全校朝読書の実施 8 環境教育 																														
学級編制	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #FFD700;"> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>25</td> <td>42</td> <td>25</td> <td>2</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>23</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>2</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>48</td> <td>79</td> <td>62</td> <td>4</td> <td>193</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援級	合計	学級数	2	2	2	3	9	男子	25	42	25	2	94	女子	23	37	37	2	99	合計	48	79	62	4	193
学年	1年	2年	3年	特別支援級	合計																										
学級数	2	2	2	3	9																										
男子	25	42	25	2	94																										
女子	23	37	37	2	99																										
合計	48	79	62	4	193																										
教職員	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <p>校長 菅原 裕行</p> <p>教頭 宮口 貴裕</p> <p>教職員数 教諭15名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名 特別支援教育支援員1名</p>																														

弁 華 別 中 学 校

校章・所在地



〒061-0208
北海道石狩郡当別町字弁華別 429 番地
電話：0133-23-2349 FAX：0133-25-2068

【校章の意味】

雪の結晶に弁華別の弁を図案化し、ペンと地域性の象徴を表す。

校歌

一 白雲わたる 阿蘇の峰 当別川の 瀬々の歌 四季うるわしく むつみあい 学びの道に みなはげむ わが弁華別中学校	二 穂波に光る 金の風 開拓の父祖 しのびつつ こころとからだ きたえきて まげじとつよく みなちかう わが弁華別中学校	作詞 和田 徹三 作曲 工藤 健次
--	---	----------------------

沿革の概要

昭和22年 5月 1日 弁華別中学校開校 (弁華別小学校校舎一部使用) 弁華別教育振興会発足 (小・中合同のPTA組織発足 初代会長 近藤辰雄氏) 30年 2月18日～3月18日 旧校舎当別川渡河 (馬楯により弁小側から当別川の対岸に移動) 33年11月30日 校歌制定(ピアノ購入記念) 42年 女子籠球部管内中体連大会優勝 43年 女子籠球部管内中体連大会優勝 (2連覇を達成) 女子スキー部管内中体連大会優勝 59年 新校舎建築開始(管理棟) 60年 新校舎建築(特別教室) 61年 新校舎建築完成(体育館落成) 平成 2年 緑の少年団設立 (弁華別小学校・青山中央小中学校と 3校で組織し活動開始)	平成16年 第26回全日本リコーダーコンテスト出場 (銀賞・徳山賞を受賞) 17年 第27回全日本リコーダーコンテスト出場 (銀賞を受賞) 19年 国土緑化推進機構主催平成18年度全日本 学校関係緑化コンクール学校林等活動の部で 農林水産大臣賞(特選)を受賞 (平成18年度までの活動に対して) 20年 石狩管内教育実践奨励表彰 (総合的な学習“森林学習”の取り組みに 対して) 21年 当教研究学校課題研究発表会 石狩管内教育機器活用研究大会開催 22年 全国中体連スキー大会 (安比高原スキー場)SL競技出場 23年 全国中体連スキー大会 (猪苗代スキー場)SL、GSL競技出場 25年 全国中学生人権作文コンクール感謝状受賞 (法務省人権擁護局) 26年 ユネスコスクール加盟承認 8月 生徒用・校務用コンピュータ入替
--	--

教育目標

～未来を見つめ、『より高く』『より強く』を志向する生徒～
◇ 豊かな知力 ◇ 思いやる心 ◇ 確かな判断力 ◇ 健やかな心と身体
[平成11年4月1日制定]

【今年度の重点教育目標】

～確かな学力を身につけ、豊かな心で失敗を恐れず行動できる生徒の育成～

経営の重点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本校の実態に即し、「生きる力」の育成を育む教育課程の実施と検証 ◆ 豊かな人間性とたくましさを育む教育の推進 ◆ 教師力を高める研究と研修の推進 ◆ 小中連携と小学校の学習を踏まえた教育の充実 ◆ 評価の充実と創意・総意を生かした学校経営の推進 ◆ 生徒・保護者・地域に発信し、課題を共有し合う学校づくりの推進 																									
研究主題	<p>《 研究 主 題 》 『確かな学力を身につけ主体的に活用しようとする生徒の育成』 ～基礎基本の定着と個に応じた指導の充実により、 思考力・判断力・表現力の向上に努める～ [平成25年度より3カ年計画の3年次目]</p>																									
特色ある教育活動	<p>1 朝 学 習 毎朝15分間、5教科テキストと、読書の2週交代のローテーションで学習を行い、基礎・基本の定着の促進と読解力を高める取り組みを進めている</p> <p>2 B T 本校では総合的な学習の時間をB T (Bright Time)とし、3分野で活動している 国際：国際交流（全校～北海道国際交流・協力総合センターと連携） 体験：1年～校外学習(小樽) 2年～職業体験、宿泊学習(札幌) 3年～修学旅行(東京)での体験学習 自然：農園活動～植え付けから日常の世話、収穫を行い、収穫したものは、国際交流での調理にも使用する。 森林学習～当別町から中小屋・上当別の町有林を借用し森林学習を進める 下草刈り・枝打ち・間伐・植林等の活動を行っている</p> <p>3 小中連携 弁華別小学校と合同運動会の実施や、地域清掃活動などを従来から行っている また、小中交流会を行い、小学校の先生方に中学校の学級活動・道徳の授業に入ってもらったり、中学校の先生が小学生に授業を行ったりする取り組みを行っている。</p> <p>4 連携教育 個を生かした指導の充実を図るため、外部講師の招聘に力を入れている 平成26年度 全校道徳：通信事業者の講師による携帯安全教室 全校B T：町役場総務課の協力による防災体験学習 全校B T：石狩振興局森林室及びボランティア団体「シラカンバ」による森林学習 全校B T：国際交流～北海道国際交流・協力総合センターと連携 (H26年：ブラジル・タイ・中国の方と交流) 2年B T：当別消防署等による一般救命講習 3年美術：千草屋(高橋千枝子氏)による陶芸教室</p>																									
学級編成	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	合計	学級数	1		1	2	男子	0	1	3	4	女子	2	1	2	5	合計	2	2	5	9
学年	1年	2年	3年	合計																						
学級数	1		1	2																						
男子	0	1	3	4																						
女子	2	1	2	5																						
合計	2	2	5	9																						
教職員	<p style="text-align: right;">平成27年5月1日現在</p> <p>校長 浅田 眞</p> <p>教職員数 教諭5名 事務職員1名 非常勤講師4名</p>																									

➤ 2 学校給食

1 学校給食の役割

学校給食は、栄養バランスのとれた食事の提供だけでなく、正しい食習慣・食文化を伝え、児童生徒一人一人が「自分の健康を考え、食事を選ぶ能力」を身につける大切な学びの場です。

- 栄養バランスのとれた豊かな学校給食
- 望ましい食習慣を形成する学校給食
- 人間関係を豊かにする学校給食
- 自然の恵みや感謝の心を育てる学校給食

2 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
敷地面積	3,625.00㎡ (1,096.56坪)
建物面積	1,098.12㎡ (332.18坪)
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	1,367食 (平成26年5月1日現在)

○運営～民間会社へ調理・配送・配膳業務を委託

3 給食費の状況

区分	実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)	
小学校	1年	173～178	249	43,077～46,065
	2年	181～185		
	3年	181～184	255	46,155～47,175
	4年	181～185		
	5年	180～184	261	46,719～48,024
	6年	179～184		
中学校	1年	181～185	317	55,158～58,645
	2年	177～185		
	3年	174～176		

4 学校給食センター運営委員会

学校給食センター運営委員会は、教育委員会の諮問機関として11名の委員で構成されており、給食センターの運営に関わる基本的事項について審議しています。

[構成] 教職員5名、保護者3名、学識経験者3名 ※委員任期 2年

➤ 3 平成27年度当別町学力向上プラン

1 育みたい子ども像

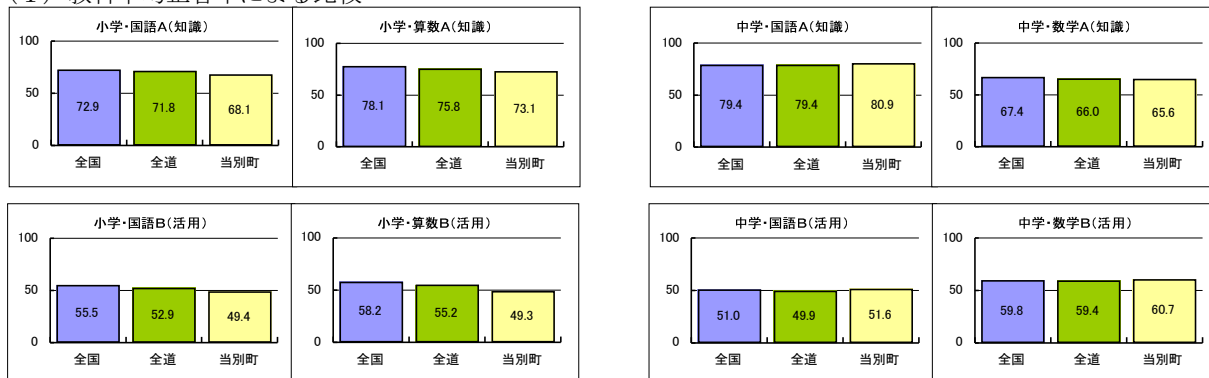
知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)のバランスのとれた児童生徒の育成

2 基本方針

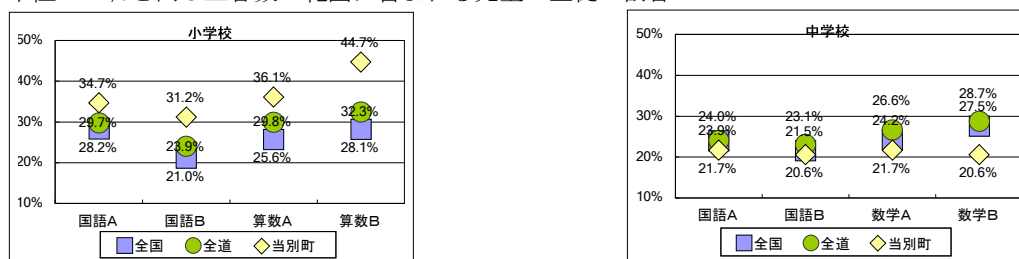
子どもの発達や学びの連続性を踏まえたていねいな教育の推進

3 当別の児童生徒たちの現状—平成26年度全国学力・学習状況調査より

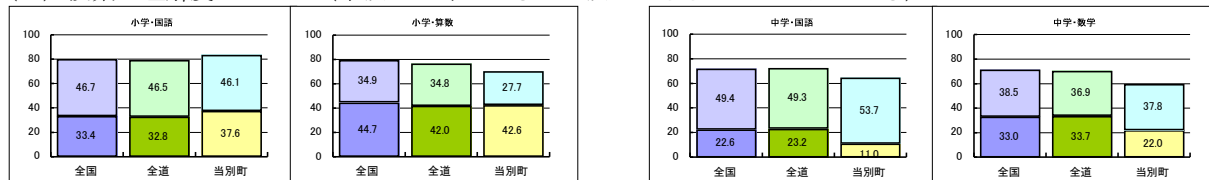
(1) 教科平均正答率による比較



(2) 全国の下位25%と同じ正答数の範囲に含まれる児童・生徒の割合



(3) 授業の理解度について (下段:よくわかる・上段:どちらかといえばわかる)



(4) 平日の家庭学習時間について



※小学校は、25年度の64%から43パーセントと大きく減少した。

※中学校は、25年度の23%から、29%と改善が進んだ。

4 学力面での成果と課題

(1) 小学校

- ①全4教科共に、全国平均に達することはできなかったが、国語A問題は改善の成果が表れてきている。
- ②国語Bでは、全国との差は縮めることができたものの「書くこと」(複数の条件を満たして文章に書くこと)の領域が大きく落ち込んでいる。
- ③小学校では、学習習慣の定着と児童の各教科の関心の高さが成果に結びついている。

(2) 中学校

- ①国語A・B、数学Bで、全国平均と同等・上回ることができた。数学Aで1.8ポイント全国平均に及ばなかったものの全体として改善が見られる。
- ②数学Aでは「関数」、数学Bでは「資料活用」の領域で課題が明確になった。
- ③中学校では、個に応じた指導が成果に結びついている。

5 質問紙調査にみる成果と課題

- ①TVやDVD視聴の時間は全国平均と同等もしくは減少傾向を示しているが、スマートフォンや携帯電話の使用が大幅に増加している。
- ②家庭学習では、平日に「1時間以上の実施状況」は、全国平均より小学校で18ポイント、中学校で6ポイント低い。休日（土・日）では、「2時間以上の実施」は当別町小学校で17.7%で全国平均より6.3ポイント低い。中学校では43.2パーセントで全国平均より2.9ポイント多い。
- ③「毎日朝食を食べる」については、一昨年・昨年、そして今年度（小95%・中95.8%）と年々向上させている。
- ④「読書が好き」は、全国平均を100とした比較では小学生が111.7、中学生が115.7で、読書を好むようになってきている。
- ⑤「自分には良いところがある」（自尊感情）は、全国平均を100とした比較では小学校103.4、中学校110.3で、向上している。
- ⑥「将来、人の役に立ちたい」と答えている小学校91.4%、中学校95.8%と、昨年度より4ポイント以上向上している。

6 当別町教育委員会の取組

①教職員加配やSAT等の派遣による少人数、習熟度別指導など、個に応じた指導の工夫改善	⑥地域人材の活用による学校への支援、土曜学習、放課後学習の実施
②学校教育指導員や石狩教育局指導主事による指導（授業改善）	⑦小中一貫教育の推進～道教委モデル事業の実施、小中連携の取組への支援
③各学校の学校改善プランに対する指導助言	⑧「当教研」での研究指定や各種事業への支援と助言
④「当別町学力向上プラン」の策定と実施、チャレンジテストへの参加奨励	⑨長期休業中の教職員研修会、期限付教員の授業指導・課題研修の実施
⑤国際理解教育、小学校「英語」の拡充	⑩ICT教育機器の配置と活用のための研修実施

7 学校の取組

①自校の教育課題解決のための教育課程の編成・実施・評価・改善の取組	④統一感ある掲示や教材教具の整備点検などの学習環境整備	⑦学校からの情報発信による、保護者・地域との協働、連携
②「学校改善プラン」の策定・実行・評価・改善	⑤「家庭学習の手引き」活用、宿題・週末課題等による家庭学習の促進	⑧朝読書や朝学習等授業以外の時間の活用、学力向上ウェブへの参加
③授業力向上を目指した「校内研修（ICT活用、学習規律やノート指導等）」や「OJT」の充実	⑥道徳の時間を機軸とした豊かな心を育む教育の推進	⑨学力向上のための小・中連携

8 平成27年度の目標

- (1) 全国学力・学習状況調査において、全教科の平均正答率を全国平均と同様にする。（北海道共通課題）
- (2) NRT／CRT検査での経年した分析結果（小中連携）を生かした授業改善の取組推進。
- (3) 全国学力・学習状況調査において、下位層の割合を26年度より、10パーセントの減少を目指す。
- (4) 質問紙調査で、学校の授業が良くわかる児童（国語37.6%・算数42.6%）を50%以上、生徒（国語11.0%・数学22.0%）を50%以上にするとともに、「授業がだいたいわかる」も含めた児童生徒を90%以上にする。
- (5) 家庭学習で、小学生は「毎日10分×学年数」、中学生は、「毎日1時間以上」を目途とし、毎日80%以上の児童生徒が行うことを目指して、各校独自の組織的な取組を行う。

9 家庭との連携

- (1) 今年度の重点として、教育委員会作成の「家庭教育の手引き」より、以下の5点の実践を促す。
(学校だよりや学級通信等へ掲載)

- ①就寝、起床など、リズムある生活を送らせよう。
- ②学習時間を確保し、毎日勉強させよう。
- ③読書時間を確保し、本に親しませよう。（毎月の文の日の活用）
- ④得意分野を見つけ、ほめて伸ばそう。
- ⑤子どもとの対話を大切にしよう。

- (2) 各学校（小中連携した）独自の「生活リズムチェックシート・家庭学習の進め方」等の取り組みを通して家庭教育を支援する。
- (3) 学校だより、学年通信、学級だより、ホームページ等により、児童生徒理解・学校理解に努め、保護者・地域との連携を推進する。

▶ 4 当別町の小中一貫教育

町では、平成27年3月に「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」を策定しました。

この基本方針は、当別町第4次生涯学習基本計画で検討すべきとされた一体型による一貫教育を基本としつつ、一体型一貫校設置の過程において、当分の間、現在設置されている小学校と中学校の連携のもとで、義務教育9年間を見通した系統的で継続性のある一貫した教育を実現しようとするものです。

※「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」の詳細は、当別町教育委員会のホームページに公開しています。(アドレス：<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/site/kyoiku-top/>)

《 小中一貫教育基本方針 》 [平成27年3月策定]

1 当別町で進める小中一貫教育の目的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する

2 当別町小中一貫教育でめざす方向性

一貫教育でめざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

一貫教育でめざす学校像

- (1) 上位の学校へのスムーズな移行や、ずれや逆転のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- (2) その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- (3) 地域や保護者の思いが活かされ共に歩める学校
- (4) 魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校

一貫教育でめざす地域像

- (1) 学校がまちづくりの核である地域
- (2) 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- (3) 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- (4) 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域

一貫教育でめざす児童生徒像

- (1) 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲
- (2) 豊かな人間性
- (3) 健全な心身
- (4) コミュニケーション能力
- (5) プレゼンテーション能力
- (6) 当別が好きな子ども

3 当別町で進める小中一貫教育の概要

- (1) 全小学校・中学校での小中一貫教育の実施（目標の設定）
- (2) 義務教育9年間を連続した教育課程の編成（教育課程の編成）
- (3) 地域の特徴を活かした教科の導入（当別学の創設・国際教育の推進）
- (4) 児童生徒や教職員の交流（教科担任制導入や習熟度別学習と教職員の意識改革）
- (5) 発達段階に応じた学年区分による指導
- (6) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
- (7) 適正な学校規模の維持と良好な教育環境の確保（老朽化した施設の改善・児童生徒数の減少への対応）

4 当別町の施設形態

当初は、現在の中学校区にあわせ、2校の義務教育学校の設置を想定し、2校4校舎でのスタートに向け、取り組みを進めていきます。また、なるべく早い時期に、より教育効果が得られる施設一体型の一貫教育に移行します。

5 推進体制

一貫教育を推進していくため、学識経験者、学校関係者、保護者・地域の代表、公募による町民の代表、教育委員会事務局などで構成する組織を設置します。

6 スケジュール

平成27年度	カリキュラム等の作成・教職員研修の実施 小学校・中学校間の連携の強化
平成28年度	小中一貫教育の試行実施（一部教科担任制） カリキュラム等の作成・教職員研修の実施 小学校・中学校間の連携の強化
平成29年度	小中一貫教育を全小中学校で開始 教職員研修の実施
平成30年度以降	一貫カリキュラムの拡大実施（教科・教科担任制等） 教職員研修（新規採用・転入者・継続）の実施 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進



《 小中一貫教育の取組 》

当別町教育委員会では、平成26年度から北海道教育委員会の指定を受け、「小中連携、一貫教育実践事業」に取り組んでいます。

当別町の児童生徒一人ひとりが夢や希望を持ち、実現していく力を育てるため、義務教育段階の学習内容の確実な定着を図る学習指導のあり方についての実践研究を行う取組を「当別小中ドリカムプロジェクト」として、当別小学校、当別中学校が連携し、義務教育9年間を見通した指導のあり方などを研究しています。

【平成26年度の取組】

- 小中合同研修会の実施^{※1}（講師：北海道教育大学釧路校 教授 中村典生 氏）
- 道内外の先進地視察研修^{※2}（小中一貫教育全国サミット in 姫路 等）
- 9年間の系統性を明らかにした、算数、数学の「年間指導計画」等の作成
- 板書の仕方など、統一性のある学習規律の共有
- 保護者向け「家庭学習の手引」の作成
- 地域連携協議会の開催（2回）

（地域連携協議会の構成：教委、学校、保護者、石狩教育局、管内の先進的取組実践校）

※1、※2については、北海道教育委員会事業「地域連携研修事業」を活用して実施しています。



小中合同研修会のようす 26.8



地域連携協議会（第2回）のようす 27.3



家庭学習の手引き

【平成25年以前の小中連携・一貫教育の取組】

- **中1ギャップ問題未然防止事業**（H22-24 道教委指定事業）
指定校 当別小学校・当別中学校
内容 当別町立当別中学校区における中1ギャップ解消プラン
- **小・中連携教育実践研究事業**（H18-19 国立教育政策研究所受託事業）
実施校 西当別小学校・西当別中学校
研究課題 生徒指導に関する改善
～9年間を見通した一貫した生徒指導の工夫改善～

➤ 5 保護者支援制度

1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行う。

内訳（平成27年度支給額）

（単位：円）

区分		小学校	中学校	支給内訳
新入学児童生徒 学用品費等	1年	20,470	23,550	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品
学用品費(学) 通学用品費(通) 校外活動費(校)	1年	(学) 11,420	(学) 22,320	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品(実験、実習教材費を含む)、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	(学) 11,420 (通) 2,230 (校) 実費	(学) 22,320	
	3年		(通) 2,230	
	4年		(校) 実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,020	37,340	体育授業の参加に必要な体育実技用具
	武道用具		7,510	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科などの経費
学校給食費		1・2年 249円 3・4年 255円 5・6年 261円 ×実食数	1~3年 317円 ×実食数	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	感染症又は学校病にかかり、学校から治療の指示を受けたとき、その疾病のための医療に要する費用 学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痂疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫(虫卵保有を含む)をいう。

就学援助の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員		146	118	121
	決算額		9,339	7,957	7,872
中学校	実施人員		108	77	82
	決算額		10,905	8,632	10,412
計	実施人員		254	195	203
	決算額		20,244	16,589	18,284

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図る。

内訳（平成27年度上限額）

（単位：円）

区分		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	10,235	11,775
学用品・通学用品購入費		5,710	11,160
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,010	18,670
	柔道		3,755
	剣道		25,970
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,785	3,005
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		775	1,120
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,440	28,185
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員		8	12	11
	決算額		279	460	413
中学校	実施人員		6	7	8
	決算額		389	400	508
計	実施人員		14	19	19
	決算額		668	860	921

3 特別支援学級等通学援助費

小学校および中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する特殊事情にかんがみ、保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及を図る。

特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員		45	44	42
	決算額		261	247	234
中学校	実施人員		9	10	11
	決算額		54	60	66
計	実施人員		54	54	53
	決算額		315	307	300

4 私立幼稚園助成費

(ア) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の格差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付する。

内訳（平成27年度基準額）

学校1・2・3年生の兄・姉の状況		小学校1・2・3年生の兄・姉のいない世帯			小学校1・2・3年生の兄・姉が1人いる世帯		小学校1・2・3年生の兄・姉が2人以上いる世帯
同一世帯から幼稚園に通っている人数		同一世帯1人目	同一世帯2人目	同一世帯3人目以降	同一世帯1人目	同一世帯2人目以降	
補助基準※ (平成27年度町民税)		補助上限額（年額）円					
1	生活保護を受けている世帯	308,000	308,000	308,000	308,000	308,000	308,000
2	町民税が非課税または町民税の所得割額が非課税の世帯	272,000	290,000	308,000	290,000	308,000	308,000
3	町民税の所得割課税額が34,500円＋（16歳未満の扶養親族の数×21,300円）＋（16歳以上19歳未満の扶養親族の数×11,100円）以下の世帯	115,200	211,000	308,000	211,000	308,000	308,000
4	町民税の所得割課税額が171,600円＋（16歳未満の扶養親族の数×19,800円）＋（16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円）以下の世帯	62,200	185,000	308,000	185,000	308,000	308,000
1～4に該当しない世帯		対象外	154,000	308,000	154,000	308,000	308,000

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
対象幼児数	157	149	133
補助金交付額	18,869	17,742	18,130

(イ) 当別町私立幼稚園特別支援教育費補助金

特別な支援が必要とされる幼児が在園し、かつ、特別支援教育支援員を置く町内の私立幼稚園に対して、補助金を交付する。

内訳

幼稚園において採用する特別支援教育支援員の人件費

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
対象幼児数	5	2	4
補助金交付額	525	1,507	1,424

社 会 教 育

➤ 1 社会教育関係事業

1 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象・参加	概要
わくわくキッズ	5月 ～11月 (月1回 土曜日)	当別小学校 体育館等	小学生	町内の児童に対し、体験活動を通して安全な居場所づくりを行う。
土曜学習会	5月9日 ～ 3月12日 (年17回)	白樺コミセン 西当別コミセン	小・中学生	町内の児童生徒に対し、土曜の自主的な学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
放課後学習会	6月2日 ～ 3月23日 (年65回)	当別小学校 西当別小学校 白樺コミセン 西当別コミセン	小・中学生	町内の児童生徒に対し、放課後の宿題や自主学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
当別 KIDS インターナショナル クラブ	6月14日 ～ 2月20日 (年10回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生	町内の児童に対し、様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、英語体験の充実を図る。
こころのふれあい 通学合宿	6月29日 ～ 7月4日	西当別コミセン	小学 5・6年生	町内の小学校高学年に対し、通学しながら5泊6日の集団生活を送ることで、規則正しい生活習慣と自ら考え行動できる力を育む。

2 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象・参加	概要
青少年リーダー 養成事業	4月 ～3月	白樺コミセン等	中学1年～ 高校3年	リーダー研修会の参加や地域 行事の手伝いを通じ、青少年 リーダーを養成する。
ことぶき大学	5月 ～3月 (月2回)	白樺コミセン 各見学・体験 ・交流施設等	60歳以上 の町民	体験活動を重視した趣味の講 座や、健康や生きがいづくり の講演会、見聞を広める研修 視察等を実施する。
おやこ 父子de 田植え／稲刈り	5月30日 ／未定	田の沢公園	町内の 小学生と 保護者	田植え等の作業を共同で行う ことで、親子の交流・つどい の場の提供し、家庭の教育力 の向上と充実を図る。
当別学講座	6月 ～1月	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、 大学の知的財産を活かした学 習機会の提供を進める。
当別歴史講座	7月 ～12月 (年6回)	ふれあい倉庫 白樺コミセン	町民	当別開拓140年余の歴史を学 ぶことを通して、これからの まちづくりについて考える。
子育てを考える つどい	7月 ～3月	各学校 地区会館等	P T A等	講演会、懇談会等を開催し、 子育てについて考え、効果的 に家庭や地域社会の教育力の 向上と充実を図る。
当別町小中高大生 TOWN ミーティング	11月 ～12月	白樺コミセン	町内の 小・中・高校生 北海道医療 大学生	町内の児童会・生徒会役員等 が集い、課題解決方法の学習 等を行い、リーダーとしての 資質向上等を図る。
少年の意見発表会	2月13日	白樺コミセン	町内の 小・中・高校生	青少年の自覚と自主性を育 て、同世代の青少年の意識啓 発と、青少年の健全育成に対 する大人の理解関心を深める。
当別町人材バンク	要相談		町民	自らの知識や技能を活かして 活動をする人材バンクを活用 し、町内活動団体等への紹介 やコーディネートを行う。

3 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象・参加	概要
絵本読み聞かせ会	毎月第3 金曜日	学習交流センター	乳幼児 保護者	絵本よみきかせ会を通して、子どもたちが絵本やおはなしに親しみ、本に触れる環境を提供していく。
ブックスタート	10ヶ月児 健診時	ゆとろ	10ヶ月児 健診を 受診する 親子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
巡回図書	5月 ～3月 小学校 (年6回) 幼保 (年5回)	各小学校 幼稚園 保育所	小学生 幼児	子どもの読書活動を充実させるため、町図書室の児童書を各小学校や幼稚園、保育所へ巡回し貸し出す。
子ども出前図書	要相談	各小・中学校	小・中学生	学校の要望に応じ、学級文庫用図書などの貸出し協力や学校図書館運営支援を行い、子どもの読書環境を充実させる。
学校図書館訪問支援	毎週指定 曜日・時間	各小・中学校	小・中学生	町図書室の司書が学校を訪問し、おすすめ本の紹介や企画展示のアドバイス等を行う。
とうべつ家読の日	毎月23日		町民	家読の日を広く周知し、家庭で子どもが本に出会い、本に親しむきっかけをつくる。毎月「家読通信」の発行を行う。

4 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象・参加	概要
学校開放事業	4月1日 ～ 3月31日	当別・西当別 小学校 当別・西当別・弁華別 中学校	町民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、学校施設を開放する。
ニュースポーツ チャレンジ	4月 ～3月		町民	申し込み団体に講師を派遣し、ニュースポーツの体験、啓発に向けた出前教室を実施する。
小中学生のスポーツ 大会参加事業助成	4月 ～3月		小・中学生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
朝のラジオ体操	5月10日 ～10月下旬 6時30分～	阿蘇公園	町民	健康づくりを目的に、朝のラジオ体操を実施する。
ジュニアスイミング	7月28日 7月29日 7月30日 7月31日	当別小学校 プール	小学校 3年生	水泳の基礎基本を中心に、安全かつ楽しく泳げるようになることを目的として行う。
親子エンジョイ パーク	毎週 水曜日 13時～ 15時30分	総合体育館2階 格技室	未就学児と その保護者	スポーツ遊具を貸出し、親子で運動や遊びができる場所の無料提供を行う。
青少年 スポーツの時間	毎月第2・4 土曜日 9時～12時	総合体育館	町内の 小・中・高 校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、総合体育館の無料開放を行う。

➤ 2 社会教育施設

白樺コミュニティセンター

所在地 石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1
電話 0133-23-2511 FAX 0133-23-2516

開館時間 午前 9 時 ～ 午後 10 時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

施設概要 多目的ホール、大研修室、小研修室、
調理実習室、和室、談話室



利用状況

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室 1	和室 2・3	談話室	計	
24	件数	183	57	657	124	238	121	0	1,380
	人数	2,434	880	9,760	3,334	2,044	958	0	19,410
25	件数	185	69	574	150	253	80	0	1,311
	人数	2,667	1,347	10,442	3,357	1,672	826	0	20,311
26	件数	264	76	688	220	259	86	0	1,563
	人数	4,830	478	14,262	4,565	1,577	510	0	26,516

西当別コミュニティセンター

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7
電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600

開館時間 午前 9 時 ～ 午後 10 時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

施設概要 アリーナ、図書室、大会議室、和室、
研修室、会議室、調理室、更衣室、
シャワー室



利用状況

年度\区分	アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	他（見学）	計	
24	件数	937	321	208	186	78	373	1	2,104
	人数	18,580	16,779	4,075	4,287	999	3,477	35	48,232
25	件数	973	329	234	199	89	344	8	2,176
	人数	23,325	21,537	4,136	4,497	1,384	3,156	521	58,556
26	件数	990	359	233	257	88	384	0	2,311
	人数	18,491	14,861	3,768	4,925	870	3,182	0	46,097

当別町学習交流センター “ふくろう図書館”

所在地 石狩郡当別町錦町 1248 番地 7
 電話・FAX 0133-23-0573

開館時間 午前 10 時 ～ 午後 5 時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
 年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）



利用状況及び蔵書数

年度	貸出実績（冊）			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
24	11,967	6,566	18,533	5,092	2,365	7,457	8,164	6,937	15,101
25	14,980	8,569	23,549	4,158	1,501	5,659	8,753	7,208	15,961
26	14,822	6,243	21,065	4,214	1,151	5,365	9,329	7,602	16,931

西当別コミュニティーセンター図書室

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7
 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600

開館時間 午前 10 時 ～ 午後 5 時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
 年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）



利用状況及び蔵書数

年度	貸出実績（冊）			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
24	13,220	7,776	20,996	5,518	2,840	8,358	8,378	7,356	15,734
25	16,916	8,520	25,436	4,863	1,838	6,701	8,578	7,719	16,297
26	16,538	6,538	23,076	4,743	1,314	6,057	8,541	7,764	16,305

世紀会館

所在地 石狩郡当別町園生 57 番地 8
電話 0133-23-2896

開館時間 午前 9 時 ～ 午後 10 時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

施設概要 洋室、集会室、和室



利用状況

年度\区分	洋室	集会室A	集会室B	和室	計	
2 4	件数	41	167	68	5	281
	人数	188	1,835	846	38	2,907
2 5	件数	47	172	91	7	317
	人数	313	1911	847	47	3,118
2 6	件数	137	190	77	4	408
	人数	829	1,894	591	22	3,336

当別伊達記念館・伊達邸別館

明治 4 年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の鋤が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治 1 3 年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。

所在地 石狩郡当別町元町 105 番地
電話 0133-22-3735

開館時間 午前 10 時 ～ 午後 4 時 30 分

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
冬期間（11 月から 4 月まで）

料 金 無料

利用状況

年度	件数	人数
2 4	件数	146
	人数	1,618
2 5	件数	230
	人数	1,474
2 6	件数	228
	人数	1,328

当別町総合体育館

所在地 石狩郡当別町白樺町 2792 番地
 電話 0133-22-3833 FAX 0133-22-3832

開館時間 午前 9 時 ～ 午後 9 時 30 分

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）
 年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）

施設概要 アリーナ、ランニングコース、
 トレーニングルーム、弓道場、格技室
 更衣室、シャワー室



利用状況

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
24	件数	1,430	671	275		2,376
	人数	45,291	9,922	2,824	4,840	4,428
25	件数	1,471	606	321		2,398
	人数	50,007	10,613	3,359	4,712	4,554
26	件数	1,367	512	294		2,173
	人数	46,980	9,541	3,374	5,712	4,611

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

屋外体育施設等一覧

施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 バックネット、フェンス、スコアボード、ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	石狩郡当別町元町 1119 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	石狩郡当別町元町 1119 番地 3 (阿蘇公園内) 土俵 1 面 (屋根付き)、観覧席 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 全天候型コート 2 面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 クレーコート 4 面 開設期間：5月～10月 問合せ先：当別町総合体育館
当別小学校水泳プール	石狩郡当別町元町 102 番地 25m×6 コース、幼児・低学年用プール、シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6月～9月 (月曜日、8/15・16 は休館) 利用時間：10時～12時、13時～20時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	石狩郡当別町樺戸町 他 (当別川河川緑地) 全 18 ホール 開設期間：5月～10月 (火曜日は整備のため利用不可) 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
あいあい公園パークゴルフ場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 全 18 ホール 開設期間：5月～10月 (月曜日は整備のため利用不可) 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
遊遊公園テニスコート	石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 オムニコート 2 面 開設期間：5月～10月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター

資料

➤ 教育委員

職 名	氏 名	任 期
委 員 長	白 井 応 隆	平成12年10月20日就任[4期]
委員長職務代理者	武 岡 和 廣	平成22年10月 1日就任[2期]
委 員	寺 田 郷 子	平成23年12月15日就任[1期]
委 員	小 林 泰 雄	平成24年10月 1日就任[1期]
教 育 長	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日就任[1期]

平成27年6月1日現在

【 歴代 委員長 】

歴 代	氏 名	就 任 期 間
初代	山田 茂	昭和27年11月1日 ～ 昭和28年9月30日
2代	杉木 初雄	昭和28年10月1日 ～ 昭和31年9月30日
3代・5代	高橋 祐四郎	昭和31年10月1日 ～ 昭和33年9月30日
		昭和35年10月1日 ～ 昭和39年9月30日
4代	藤沢 健夫	昭和33年10月1日 ～ 昭和35年9月30日
6代	石川 勝男	昭和39年10月1日 ～ 昭和43年9月30日
7代	泉 義治	昭和43年10月1日 ～ 昭和47年9月30日
8代	高橋 巖	昭和47年10月1日 ～ 昭和58年9月30日
9代	小山 三十五	昭和58年10月1日 ～ 昭和63年9月30日
10代	戸田 紀夫	昭和63年10月1日 ～ 平成 2年9月30日
11代	中山 栄一	平成 2年10月1日 ～ 平成 4年9月30日
12代	宮浦 俊英	平成 4年10月1日 ～ 平成11年9月30日
13代	大澤 勉	平成11年10月1日 ～ 平成24年9月30日
14代	白井 応隆	平成24年10月1日 ～ 現 在

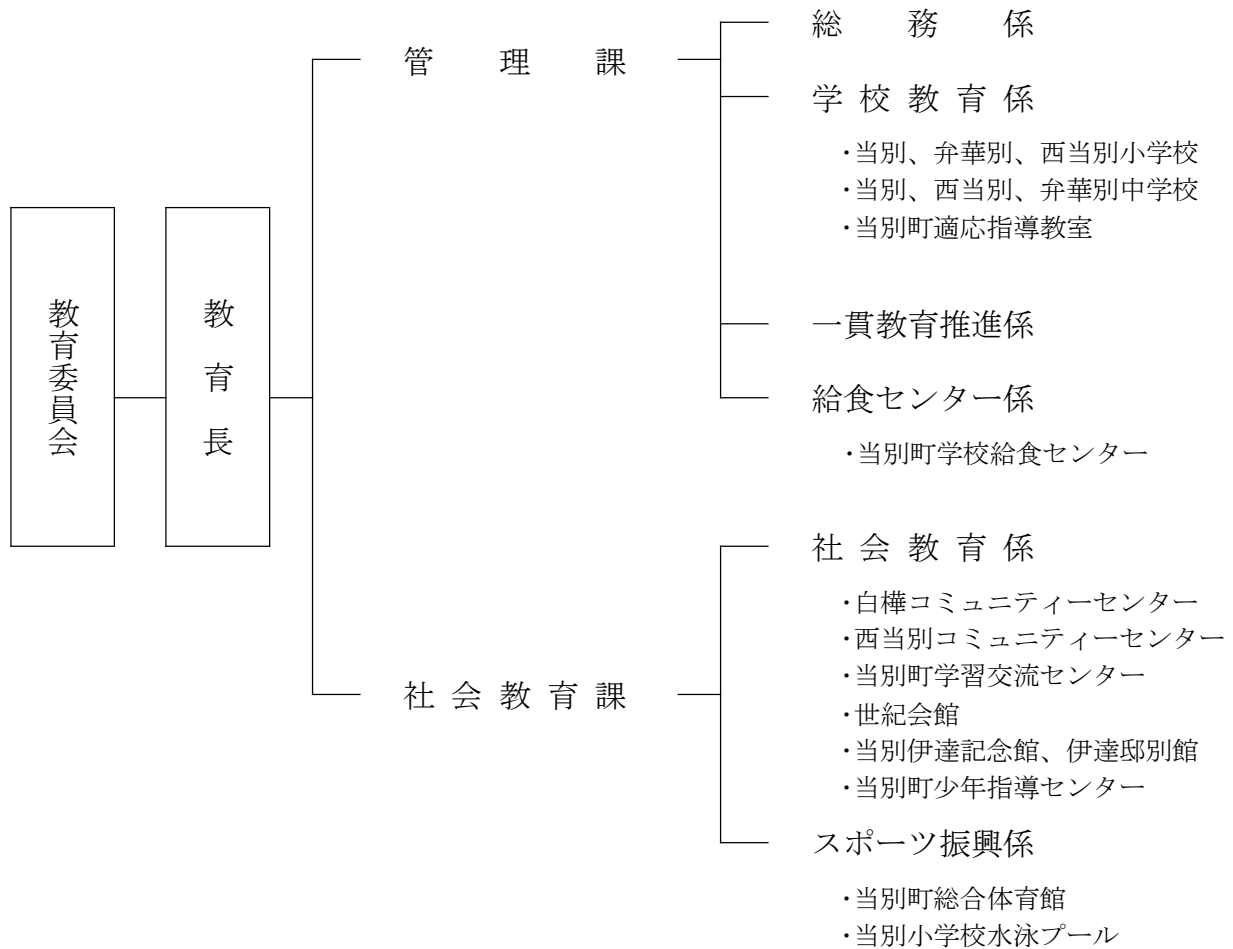
【 歴代 教育長 】

歴 代	氏 名	就 任 期 間
初代	山田 勇	昭和27年11月1日 ～ 昭和28年1月7日
2代	高橋 鋼三郎	昭和28年 1月 8日 ～ 昭和32年2月14日
3代	久永 善治	昭和32年 2月17日 ～ 昭和38年3月31日
4代	高砂 正清	昭和38年 4月 1日 ～ 昭和51年6月10日
6代	佐藤 晴之	昭和51年 6月21日 ～ 昭和61年8月 5日
7代	有澤 楨雄	昭和61年 8月13日 ～ 平成 9年8月22日
8代	藤中 彰二	平成 9年 8月25日 ～ 平成13年9月30日
9代	高橋 義	平成13年10月 1日 ～ 平成21年9月30日
10代	山内 秀治	平成21年10月 1日 ～ 平成25年9月30日
11代	本庄 幸賢	平成25年10月 1日 ～ 現 在

➤ 平成26年度教育委員会等開催状況

会 議 名	開 催 日	開催場所	備 考
平成26年第6回定例会	平成26年 4月17日	役場会議室	
第7回定例会	平成26年 5月15日	役場会議室	
第8回定例会	平成26年 6月18日	役場会議室	
第51回 北海道市町村教育委員研修会	平成26年 7月10日	札幌市教育 文化会館	北海道町村教育委員会 連合会主催
第9回定例会	平成26年 7月18日	役場会議室	
教育委員と語る会	平成26年 7月30日	役場会議室	当別町小中学校長会 主催
第10回定例会	平成26年 8月22日	役場会議室	
第11回定例会	平成26年 9月24日	役場会議室	
教育委員視察研修	平成26年 9月29日	雨竜町	
第12回定例会	平成26年10月23日	役場会議室	
平成26年度 石狩管内教育委員会委員研修会	平成26年10月24日	当別町	石狩管内教育委員会 協議会主催
校長教頭合同研修会	平成26年11月17日	役場会議室	当別町小中学校長会 主催
第13回定例会	平成26年11月19日	役場会議室	
第14回定例会	平成26年12月19日	役場会議室	
当別町成人式	平成27年 1月11日	総合体育館	
平成27年第1回定例会	平成27年 1月21日	役場会議室	
当別町少年の意見発表会	平成27年 2月14日	白樺コミセン	
第2回定例会	平成27年 2月18日	役場会議室	
第3回臨時会	平成27年 2月27日	役場会議室	
当別町教育委員会表彰式	平成27年 2月28日	ゆとろ	
第4回臨時会	平成27年 3月10日	役場会議室	
第5回定例会	平成27年 3月23日	役場会議室	

➤ 教育委員会組織図



➤ 課及びセンターの分掌事務

【 管理課 】

- ・教育委員会に関すること
- ・事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・学校教育の推進に関すること
- ・学校教育財産の管理に関すること
- ・給食センターの運営管理に関すること
- ・給食費に関すること
- ・給食の調理及び輸送に関すること
- ・その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

【 社会教育課 】

- ・社会教育の計画及び推進に関すること
- ・社会教育施設に関すること
- ・文化財の保護に関すること
- ・社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・青少年健全育成及び対策に関すること
- ・スポーツの振興に関すること
- ・スポーツ推進委員に関すること
- ・その他社会教育の指導及び事務に関すること

➤ 教育関係各種委員

(1) 当別町教育支援委員会

教育支援委員会委員			平成27年6月1日現在
氏名		選任区分	所属
前田史郎	第1号委員	医師	とうべつ内科クリニック
厚海嘉孝	第2号委員	学識経験者	当別町立当別中学校
樟山行彦	第3号委員	特別支援学級設置校校長	当別町立西当別小学校
大西倫余	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
藤枝理恵	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
佐藤宏美	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
伊藤千織	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
森山一樹	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
佐々木孝行	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
林基次	第4号委員	特別支援教育担当教諭	北海道拓北養護学校
石川環	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町役場福祉部福祉課 保健サービス係
五十嵐京湖	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町ふとみ保育所
砂田敦子	第5号委員	児童福祉関係職員	当別夢の国幼稚園・保育園
門脇一恵	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町 子ども発達支援センター

[任期] 平成27年5月1日～平成29年4月30日

教育支援委員会専門委員			平成27年6月1日現在
氏名		選任区分	所属
大西倫余		特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
藤枝理恵		特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
富樫剛雄		特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
大久保由希恵		特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校

小林 雅 美	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
佐藤 宏 美	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
伊藤 千 織	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
品川 剛	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
小野寺 幸 司	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
森山 一 樹	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
佐々木 孝 行	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
鈴木 元 次	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校

[任期] 平成27年5月1日～平成29年4月30日

(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員			平成27年6月1日現在
氏名	選任区分	所 属	
松島 靖 時	特別支援学校教職員	北海道新篠津高等養護学校	
林 基 次	特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校	
藤枝 理 恵	特別支援学級設置校教職員	当別町立当別小学校	
佐藤 宏 美	特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校	
伊藤 千 織	特別支援学級設置校教職員	当別町立当別中学校	
森山 一 樹	特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別中学校	

[任期] 平成27年5月1日～平成29年4月30日

特別支援教育専門家委員			平成27年6月1日現在
氏名	選任区分		所 属
西 基	第1号委員	精神科、神経科、小児科等の医師	北海道医療大学
後藤 龍 太	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
青山 眞 二	第3号委員	特別支援教育に関する有識者及び専門機関の職員	北海道教育大学教育学部札幌校
上村 喜 明	第3号委員	特別支援教育に関する有識者及び専門機関の職員	北海道立特別支援教育センター
加藤 眞 司	第3号委員	特別支援教育に関する有識者及び専門機関の職員	北海道中央児童相談所

[任期] 平成27年5月1日～平成29年4月30日

(3) 学校評議員

平成27年6月1日現在

当別小学校 学校評議員	
氏名	区分
砂田 敦子	有識者
野口 和之	地域住民
武田 章子	地域住民
山田 健太	地域住民
佐々木 成尉	地域住民

当別中学校 学校評議員	
氏名	区分
小田島 正高	地域住民
難波 雅美	地域住民
長谷部 直樹	地域住民
大畑 裕貴	保護者
加藤 勇二	地域住民

西当別小学校 評議員	
氏名	区分
石田 洋三	地域住民
五十嵐 京湖	有識者
大坪 圭子	地域住民
新森 道博	地域住民
佐々木 健児	地域住民

西当別中学校 評議員	
氏名	区分
金子 景次郎	地域住民
袴田 万紀子	地域住民
曾川 昭治	地域住民
佐々木 彦治	地域住民

弁華別小学校 「学校支援アドバイザー」	
氏名	区分
清水 三喜雄	有識者
山脇 正春	地域住民
三浦 政善	地域住民

弁華別中学校 「学校推進アドバイザー」	
氏名	区分
本多 寿典	地域住民
武井 孝志	地域住民
目黒 政明	保護者

[任期] 平成27年5月1日～平成28年3月31日 (全ての学校)

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

平成27年6月1日現在				
学校名	学校医	歯科医	耳鼻科医(小4・中1)	薬剤師
			眼科医(小4・中1)	
当別小学校	兼子 聡 1年	広瀬弥奈 1~4年	黒田 努	片岡 芳仁
	小野寺晃彦 2年	田西和伸 5年		
	近藤 進 3・4年	黒澤遠奈 6年	小野 弘光	
	前田史郎 5・6年			
弁華別小学校	近藤 進	黒澤遠奈	黒田 努 小野 弘光	片岡 芳仁
西当別小学校	兼子 聡 1~4年	相良昌宏 1・2年	大黒 慎二	田西 洋三
	前田史郎 5・6年	千葉逸朗 3~6年	小野 弘光	
当別中学校	小野寺晃彦 1年	溝口 到	黒田 努	片岡 芳仁
	澤崎孝司 2・3年		小野 弘光	
西当別中学校	朴 昶勲	秀 誠司 1・2年	大黒 慎二	田西 洋三
		相良昌宏 3年	小野 弘光	
弁華別中学校	近藤 進	黒澤 遠奈	黒田 努	片岡 芳仁
			小野 弘光	

[任期] 平成27年4月1日~平成28年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会

当別町学校給食センター運営委員会委員		
		平成27年6月1日現在
職名	氏名	選任区分
委員長	浅田 眞	教職員
副委員長	三島 哲	教職員
委員	山下 一美	教職員
委員	阿部 美紀子	教職員
委員	鈴木 信行	当別町立小学校の児童及び中学校の生徒の保護者
委員	上村 薫	当別町立小学校の児童及び中学校の生徒の保護者
委員	田西 洋三	学識経験者
委員	荒戸 恵子	学識経験者
委員	大久保 隆子	学識経験者
監事	今 和則	教職員
監事	織田 久美江	当別町立小学校の児童及び中学校の生徒の保護者

[任期] 平成25年12月22日～平成27年12月21日

(6) 当別町社会教育委員会

当別町社会教育委員		
		平成27年6月1日現在
職名	氏名	選任区分
委員長	高橋 千枝子	学識経験者
副委員長	浜上 尚也	社会教育関係者
委員	菊崎 睦裕	学校教育関係者
委員	浅田 眞	学校教育関係者
委員	宮尾 道子	社会教育関係者
委員	吉野 裕宜	社会教育関係者
委員	山田 佳秀	社会教育関係者
委員	曾川 昭治	社会教育関係者
委員	櫻田 昭嘉	学識経験者
委員	堀田 則子	家庭教育活動者

[任期] 平成27年4月24日～平成29年4月23日

(7) 当別町文化財調査審議会

当別町文化財調査審議会委員		
平成27年7月1日現在		
職名	氏名	選任区分
会長	鎌田 望	学識経験者
副会長	梅枝 正春	学識経験者
委員	青柳 文吉	学識経験者
委員	村上 利枝	学識経験者
委員	倉田 守	学識経験者

[任期] 平成25年12月20日～平成27年12月19日

(8) 当別町少年指導センター

当別町少年指導センター青少年健全育成協議委員	
平成27年6月1日現在	
氏名	関係機関・団体
荒井 静	北海道札幌方面北警察署少年補導委員当別支部
難波 雅美	当別町民生児童委員協議会
山田 佳秀	当別町PTA連合会
吉野 裕宜	当別町子ども会育成連合会

[任期] 平成27年5月26日～平成28年5月25日

当別町少年指導センター少年指導委員	
平成27年6月1日現在	
【当別地区】	
氏名	関係機関・団体
阿部 弘光	当別小学校
三田 智郎	当別中学校
工藤 翔太	当別高等学校
佐藤 政彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
佐々木 良昭	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
斉藤 義則	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
荒井 静	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
棒田 克之	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
向井 久美子	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部

石澤ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
三上富弘	当別町民生児童委員協議会
泉亭英徳	当別小学校PTA
矢口美千代	当別中学校PTA
乗木裕	緑町育成会
鳴海琴美	東町育成会
柳沼靖子	アウル育成会
森川充之	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部

【太美（西当別）地区】

氏名	関係機関・団体
富樫昭子	西当別小学校
長谷川遼太	西当別中学校
河野和義	当別町民生児童委員協議会
藤田力	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
鈴木章造	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
宮本勝則	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
岩崎伸彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
山田佳秀	西当別小学校PTA
佐々木健児	西当別中学校PTA
伊藤隆志	太美西育成会
藤田竜治	太美南育成会
吉野裕宜	スターライト育成会

[任期] 平成27年5月26日～平成29年5月25日

(9) 当別町子ども読書活動推進委員会

当別町子ども読書活動推進委員		平成27年6月1日現在
職名	氏名	選任区分(団体)
委員長	大澤俊信	学識経験者
副委員長	刑部由美子	子育て支援(福祉部子育て推進課)
委員	堀田則子	図書活動実践者(絵本交流会)
委員	乗木小百合	図書活動実践者(当小よみきかせ隊)
委員	柳本晶子	図書活動実践者(当別子どもの本の研究会)

委員	堀江 三千代	図書活動実践者（NPO 法人ゆめの種子トーペツ）
委員	五十嵐 京湖	乳幼児期（ふとみ保育所）
委員	砂田 敦子	乳幼児期（当別夢の国幼稚園）
委員	小林 雅美	小学生期（当別小学校）
委員	角谷 有希子	小学生期（西当別小学校）
委員	阿部 美紀子	小学生期（弁華別小学校）
委員	小野寺 孝司	中学生期（当別中学校）
委員	入江 典子	中学生期（西当別中学校）
委員	江刺家 真	中学生期（弁華別中学校）

[任期] 平成26年10月1日～平成28年9月30日

(10) 当別町スポーツ推進委員会

当別町スポーツ推進委員		平成27年6月1日現在
職名	氏名	分担事項
委員長	野口 和之	野球、バスケットボール、ゴルフ、パークゴルフ、スナッグゴルフ
副委員長	浜上 尚也	スキー、サイクリング
委員	三浦 和司	ミニバレー、パークゴルフ、バレーボール
委員	伊藤 美穂子	水泳、ミニバレー、バレーボール、テニス、気功
委員	石澤 ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール
委員	日光 正博	スキー、パークゴルフ
委員	瀬能 正人	柔道、マラソン、ソフトボール
委員	木村 修	陸上
委員	木村 純一	剣道、フライングディスク
委員	並川 憲多	野球
委員	栄木 龍也	サッカー
委員	市川 智大	野球、卓球、陸上
委員	中多 美幸	ミニバレー
委員	石川 美香	剣道、スキー、スケート、水泳
委員	宗本 隆敏	剣道、野球、ソフトボール

[任期] 平成26年5月1日～平成28年4月30日

➤ 教育関係各種団体

当別町文化協会加盟団体		
区分	団体名	会員数
民謡	當香会	14
詩吟	日本詩吟学院岳風会当別道場	5
	日本詩吟学院岳風会太美道場	6
琴	大正琴ポピーの会	8
	さくら琴の会	7
舞踊	西川流舞踊教室当別鯉延会	11
	菊乃流菊ゆう会	5
	ひょっとこ踊り玉福	3
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ	4
	子供の為のジャズダンスサークル SKIP	34
	フラダンス同好会アロハフローズ	25
	花舞	14
音楽	当別カラオケ連合会	61
	西当別カラオケ愛好会	25
	太美カラオケ愛好会	16
	東裏カラオケ愛好会	9
	レディス・ハーモニー	15
	当別混声合唱団パストラルクワイヤ	28
	チェリーベル	6
	当別アンサンブルファミリー	30
郷土芸能	当別音頭を守る会	174
	とうべつ太鼓保存会	4
茶華道	当別華道連盟	8
	当別裏千家茶道同好会	7
	西当別茶道教室	10
	いけ花 池坊	9
書道絵画	彩苑書道会	11
	太美書道教室	10
	竹径書道会	4
	玄遠書道サークル	6
菊花盆栽	当別菊花同好会	7
生活文化	当別写真同好会	7
	末田手芸教室	20
	クレイ、クラフト、フラワー	3
	アートフラワー長谷川	6
	和裁サークル	9
	パッチワークサークル	5
	藍染サークル遊染	6
	JA 北石狩女性部西当別ブロック	4
	ぽかゆるたいむ	5
	太美ヨガサークル	17
	日本棋院当別支部	33
文芸	当別短歌会	10
合計		43団体 701名

当別町体育協会加盟団体

協会・連盟名	会員数	協会・連盟名	会員数
陸上競技協会	3	スキー連盟	80
軟式野球連盟	160	サッカー連盟	50
バレーボール協会	20	相撲国技会	26
弓道連盟	10	ソフトボール協会	14
卓球協会	105	テニス協会	29
バスケットボール協会	255	バウンドテニス協会	34
剣道連盟	50	ミニバレー協会	27
柔道連盟	8	パークゴルフ協会	330
合計 16団体 1,201名			

当別町子ども会育成連合会加盟団体

地区名	会員数	会員世帯数	地区名	会員数	会員世帯数
幸町	休会		樺戸町	17	13
北栄町	34	26	東裏	24	14
アウル	91	65	蔵岱	休会	
西町	62	42	若葉	休会	
元町	12	9	川下	休会	
緑町	21	17	太美北	休会	
東町	休会		太美寿	休会	
春日町	23	14	太美東	30	17
栄町	32	19	太美西	休会	
下川町	10	7	太美中央	90	58
六軒町	6	3	太美南	47	30
弁華別	4	3	当別太ビトエ川下	26	14
茂平沢	休会		虹の子	休会	
みどり野	11	8	スウェーデンヒルズ	87	41
中小屋	休会		スターライト	休会	
金沢	17	12			
合計 19地区 644名 412世帯					

当別町女性団体連絡協議会加盟団体

所 属	会員数
生活改善実践グループ	39
当別音頭を守る会	128
合計 2団体 167名	

➤ 文化財一覧

当別町指定文化財一覧					
平成27年6月1日現在					
指定番号	品名	種別	指定・登録年月日	所在場所	摘要
1	伊達綱宗画筆対三幅	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 伊達美知子氏が所有	伊達綱宗（寛永17年1640～正徳元年没1711年）66才（宝永2年1705年）の画いたもので伊達正人が明治25年（1892年）三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたものである。 左・・・柏雉子 中・・・太公望 右・・・芦鴛鴦 縦214cm 横60.5cm
2	打掛（紫色）	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め（1704年～1707年）冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたものである。
3	振袖（赤色）	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	享保年間（1716年～1725年推定）冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緝公へ御入嫁の際お持ちしたものである。
4	打掛（白色）	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	同上
5	長はかま及び着物	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	宝永4年生（1707年）～寛永元年没（1748年）伊達家5代村緝公が着用したものである。 （長ばかまは近衛家より拝領品）
6	のしめ（室内着）及び帯	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	文化6年生（1809年）伊達家9代義監公が着用したものである。
7	陣羽織	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	天保5年生（1834年）～明治24年没（1891年）伊達家10代邦直公が着用したものである。
8	火事装束	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	同上
9	子供用綿入れ（2組）	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	文久2年生（1862年）～伊達家11代基理公が着用したものである。 （慶応、明治初期1825～1872年）
10	子供用単衣	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別伊達記念館	同上
11	当別開拓の図	有形文化財	S 50. 7. 5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたものである。 （岩出山出身 正蘭氏筆） 縦68cm 横110.5cm
12	史蹟伊達邸別館	有形文化財	S 51. 11. 11	元町	明治13年建築 木造二階建 89.16㎡
13	当別音頭	無形文化財	H 25. 3. 27	当別音頭を守る会が所有	当別音頭は、昭和45当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。

▶ 教育の沿革

年 号	で き ご と
明治 5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・小学校教則改正に伴い当別小学校と改正
24年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
25年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当） （明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
26年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
29年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
32年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立
33年	・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする （明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
34年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
35年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立
37年	・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
38年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立
39年	・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立
40年	・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
41年	・戸長役場制から二級町村制へ移行
42年	・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
43年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
44年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置 （14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
45年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転
46年	・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
47年	・二級町村から一級町村へ昇格
48年	・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる （明治42年には高等科は3年制に変更）
49年	・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
50年	・二股小学校が二股教育所として創立
51年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立
52年	・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
53年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
54年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
55年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
大正 4年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
7年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
8年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
9年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6（裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
14年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時廃校とする
昭和 9年	・札沼線当別―札幌間開通

昭和10年	<ul style="list-style-type: none"> ・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
16年	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
21年	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定により解任、25年より当別町教育委員会から委嘱） ・体育指導委員として7名が北海道庁長官から委嘱される（昭和36年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱）
22年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別村から当別町へ昇格（町制施行） ・学制改革により6・3・3制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される ・四番川小学校が全焼、新校舎落成 ・当別中学校が当別小学校に併置され創立 ・弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立 ・青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立 ・中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・当別町体育連盟が組織される（昭和34年に体育協会に改組）
24年	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回当別町成人式挙行 ・当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26年	<ul style="list-style-type: none"> ・獅子内小学校全焼 ・太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育委員会発足（公選により4人、町議会から1人の計5人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定）
28年	<ul style="list-style-type: none"> ・二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31年	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・当別町教育目標を設定し公表
38年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町公民館が当別町体育館として完成（工事費3,855万円・建物面積1,322㎡・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室）
39年	<ul style="list-style-type: none"> ・町立当別高等学校（昭和36年発足・全日制、定時制併置）が道へ移管され道立となる ・当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置（1学級・児童10名・教員2名） ・当別町青少年問題協議会発足 ・当別町相撲場完成（面積64㎡・屋根付き）
40年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・材木沢小学校を廃校し当別小学校に統合 ・当別町体育総合道場完成（工事費280万円・建物面積201.5㎡・柔道、剣道、重量挙、弓道の道場として活用）
41年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置（1学級） ・当別町学校水泳プール完成（工事費751万円・規模：児童生徒用25m×15m×1.2m、幼児用10m×10m×0.6m）
42年	<ul style="list-style-type: none"> ・四番川中学校を廃校し青山中央中学校に統合 ・伴志ずえ奨学金運営委員会発足 ・当別町中学校発足20周年記念式典挙行
43年	<ul style="list-style-type: none"> ・青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける（47年までの4年間） ・当別高岡中学校を廃校し西当別中学校に統合

昭和 44 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別中学校を現在の下川町 1 2 5 番地に移築（工事費20,500万円・建物面積5116.61㎡） 当別小学校屋内体育館改築（工事費2,293万円・建物面積912㎡）
45 年	<ul style="list-style-type: none"> 開基 1 0 0 年記念祝典及び記念諸行事開催 当別町開拓郷土館完成（工事費1,417万円・建物面積337.48㎡） 当別町公民館世紀分館完成（工事費410万円・建物面積165㎡・会議室、和室3室） 当別町青少年会館完成（工事費1,474万円・建物面積448㎡・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等）
46 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町栄公園テニスコート完成（2面・面積1,330㎡） 三番川小中学校を廃校し青山中央小中学校に統合 当別町弓道場完成（面積224㎡・射的場） 当別町西当別プール完成（工事費1,537万円・規模：競泳25m×10m×1.2m、低学年用10m×5m×0.7m、児童用5m×5m×0.4m）
47 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別小学校校舎改築（46年1期工事、47年2期工事・総工事費26,000万円・建物面積4,857㎡） 当別幼稚園園舎新築（工事費2,385万円・建物面積580㎡） 当別町中小屋スキー場完成（工事費434万円・総面積11,719㎡）
48 年	<ul style="list-style-type: none"> 四番川小学校を廃校し青山中央小学校に統合
49 年	<ul style="list-style-type: none"> 中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費140万円・総面積2,400㎡・25m級ジャンプ台） 当別町青山中央プール完成（工事費1,855万円・規模：25m×10m・上屋付）
50 年	<ul style="list-style-type: none"> 青山小学校を廃校し弁華別小学校に統合 二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合 当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費5,325万円・建物面積612㎡・4月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用） 東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53年歯学部及び附属病院開設、59年歯科衛生士専門学校開設、60年教養部を音別町から移転、平成5年看護福祉学部開設、6年校名を北海道医療大学に変更）
51 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町社会教育指導員設置
52 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町中学校発足 3 0 周年記念式典挙行 当別町第 2 プール完成（工事費2,600万円・規模：25m×10m・上屋付） 当別町若葉球場完成（工事費6,300万円・総面積12,133㎡） 当別町青少年センター完成（工事費4,434万円・建物面積351㎡・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室） 青山中央小中学校新校舎完成
53 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町南部地域会館完成（建物面積227㎡・研修室、会議室、和室、厨房室） 中小屋中学校新校舎完成
54 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町体育協会創立 2 0 周年記念式典挙行 当別町東裏プール完成（工事費1,955万円・規模：20m×10m） 当別町若葉サッカー場完成（1面・面積7,000㎡） 当別町若葉テニスコート完成（2面・面積1,368㎡）
56 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町弁華別プール完成（工事費3,090万円・規模：25m×10m） 当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費1,350万円・面積6,590㎡）
57 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別ロータリークラブ奨学金制度発足 当別町中小屋プール完成（工事費2,982万円・規模：25m×10m） 当別町しらかばテニスコート完成（工事費2,297万円・4面・面積5,100㎡） 当別伊達記念館完成（工事費3,654万円・建物面積161.59㎡・開拓資料展示） 伊達邸別館完成（移転工事費515万円・建物面積92.53㎡・復元資料展示・明治13年建築）
59 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別町教育奨励賞制定 当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費2,270万円・全天候型2面・面積1,330㎡）
60 年	<ul style="list-style-type: none"> 当別川河川公園ゲートボール場完成（4面）

昭和 62 年	・当別町スポーツ賞制定
63 年	・当別小学校に「ことばの教室」開級 (1 学級認可)
平成 元年	・金沢小学校を廃校し当別小学校に統合 ・当別町総合体育館完成 (総工事費12 億9,000 万円・敷地面積10,802 m ² ・建物面積4,287.94 m ² ・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム) ・当別町体育協会創立 30 周年記念式典挙行
2 年	・当別町きららパークゴルフ場完成 (8 ホール、平成3 年4 ホール増設)
3 年	・当別高岡小学校を廃校し西当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置 (専任指導員2 名配置) ・当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園
4 年	・当別町屋内ゲートボール場完成 (建物面積910.8 m ² ・鉄骨及び膜構造・2 面) ・当別小学校水泳プール完成 (全面改築・総工事費2 億3,460 万円・建物面積1,103 m ² ・規模: 一般用25m×17m、低学年用 他) ・学校週 5 日制スタート ・当別町学校体育施設開放事業開始
5 年	・当別川河川緑地パークゴルフ場完成 (18 ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場)
6 年	・当別町東裏地域会館完成 (工事費3,700 万円・建物面積244 m ² ・調理実習室、和室、大会議室、研修室)
7 年	・当別町学校給食センター完成 (工事費8 億3,039 万円・鉄筋・鉄骨コンクリート造・ドライシステム、8 年1 月より全13 校で給食開始) ・少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始
8 年	・中小屋小学校が火災により焼失
9 年	・西当別コミュニティーセンター完成 (工事費9 億5,795 万円・敷地面積4,949 m ² ・建物面積2,068 m ² ・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室) ・当別町中学校開校 50 周年記念式開催
10 年	・中小屋小学校新校舎完成 (工事費3 億576 万円・総床面積1,105 m ² ・普通教室3、特別教室2、多目的ホール)
11 年	・当別町生涯学習推進計画策定 ・当別町公民館世紀分館改築 (工事費3,150 万円・総床面積182.25 m ² ・集会室2 室、洋室、和室、厨房)
12 年	・青山中央小中学校を廃校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合 (宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始) ・当別町青山中央プール廃止
13 年	・当別町適応指導教室設置 ・学校評議員制度開始 ・当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転
14 年	・当別町子ども議会開催 ・当別町歴史ボランティア設置
15 年	・文部科学省モデル地域事業「NPO 等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施 (15～16 年度) ・伴志ずえ奨学金制度廃止 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転 ・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町第 2 プール廃止 ・当別町東裏プール廃止 ・当別町中小屋プール廃止
16 年	・川下小学校を廃校し当別小学校に統合

平成 16 年	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始 ・当別町第2次生涯学習推進計画策定
17 年	<ul style="list-style-type: none"> ・中小屋中学校を廃校し当別中学校に統合 ・当別町文化賞制定
18 年	<ul style="list-style-type: none"> ・中小屋小学校を廃校し当別小学校に統合 ・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園） ・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる ・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中） ・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始 ・当別町弁華別プール廃止
19 年	<ul style="list-style-type: none"> ・蕨岱小学校を廃校し当別小学校に統合 ・当別町西当別プール廃止 ・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティーセンターとして設置 ・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転 ・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管 ・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞 ・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設 ・当別町公民館及び開拓郷土館廃止 ・当別町特別支援教育推進サポート組織設置 ・「子どもの健全育成サポートシステム」開始
20 年	<ul style="list-style-type: none"> ・東裏小学校を廃校し当別小学校に統合 ・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足 ・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始 ・当別町学校支援地域本部事業開始
21 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町総合体育館アリーナ床補修工事 ・当別町女性団体連絡協議会創立40周年記念式典挙行 ・第3次当別町生涯学習推進計画策定 ・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事 ・当別町文化協会創立40周年記念式典挙行 ・当別小学校水泳プール改修工事
22 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町体育協会創立50周年記念式典挙行 ・当別総合型地域スポーツクラブ設立 ・当別町子どもの読書活動推進計画（5ヵ年計画）策定 ・当別町140周年記念式典及び記念諸行事開催 ・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事
23 年	<ul style="list-style-type: none"> ・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体 ・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園 ・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転 ・当別町家庭教育の手引き発刊
24 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別小学校体育館落成(工事費2億8,896万円・総床面積983㎡・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫3室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下) ・栄町教職員住宅解体工事 ・当別町立小・中学校で2学期制を導入

平成 24 年 25 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別プレイハウスが当別小学校内に移転 ・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定 ・西当別中学校教員住宅解体工事 ・当別小学校北校舎トイレ改修工事 ・当別中学校トイレ改修工事 ・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事 ・西当別中学校給水設備改修工事 ・第 4 次当別町生涯学習推進計画策定
26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜学習会の開始 ・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定 ・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転
27 年	<ul style="list-style-type: none"> ・当別町子どもの読書活動推進計画（第 2 次計画）策定 ・家読の日を制定（毎月 23 日） ・放課後学習会の開始

平成27年度
当別町の教育

平成27年7月発行

編集・発行：当別町教育委員会